

福岡大学スポーツ科学研究

第 54 卷 第 1 号 (通巻98号) 付録

スポーツ科学部教員の研究活動報告 (1)

福岡大学 研究推進部

令和 5 年 11 月

スポーツ科学部教員の研究活動報告

青柳 領

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 The relationship among skills/factors and their structure and wins/losses in games in basketball classes	共著	2022	Journal of Digital Life 1(3): 1-10.	Nagamine, K., Aoyagi, O., Yaita, A., Komure, I., Kawazura, T., Tagata, S., Annoura, T. and Ohyama, Y.
2 バスケットボールの速攻の戦術行動に関わる状況判断の知識テストの作成	共著	2022	コーチング学研究 35(2): 189-199.	八板昭仁、青柳 領 倉石 平、野寺和彦
3 A statistical examination into the structure of plays and its relationship to wins/losses in basketball games played by excellent players from the standpoint of STATS	共著	2022	Journal of Digital Life 2(14): 1-9.	Nagamine, K. and Aoyagi, O.
4 高等教育機関の学生を対象としたこれまでに受講してきたバスケットボールの授業に対するテキストデータを用いた授業評価	共著	2022	佐世保工業高等専門学校研究報告 58:43-57.	大山泰史、青柳 領 八板昭仁、田方慎哉 川面 剛
5 U12育成世代における指導の現状と問題点の検討ー仲間との遊戯性を取り入れたコーディネーショントレーニングの有効性ー	共著	2022	バスケットボール研究 8: 1-9.	川面 剛、八板昭仁 青柳 領
6 教員養成課程における模擬授業の評価ー線型混合モデルを用いた授業経験と授業内容の影響の分析ー	共著	2022	Journal of Health and Welfare Investigation 1: 1-13.	井藤英俊、山本順之 青柳領
7 マイクロティーチングにおけるよい授業イメージとピア評価の関連	共著	2022	九州保健福祉大学研究紀要 22(1): 1-11.	井藤英俊、山本順之 青柳 領
8 The categorization of sports events as university PE classes using external unfolding	単著	2022	Bulletin of the Fukuoka University Center for Teacher Education 7:62-89.	
9 Examining the relationship between university students' preference structure for sports and their lifestyles using latent class analysis	単著	2022	Bulletin of the Fukuoka University Center for Teacher Education 7:90-113.	
10 Development of pre-tests for measuring learning effects of computer-manipulation skills and knowledge and grouping Sports Science students by them	共著	2022	Bulletin of the Fukuoka University Center for Teacher Education 7:114-135.	Nagamine, K., Aoyagi, O., Ikeda, Ta., Ikeda, To.
11 スポーツ情報処理実習による学生の主観的評価の向上	共著	2022	教職課程センター紀要 7:136-150.	長嶺 健、青柳 領

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
12 バスケットボールにおけるルールの理解の構造と所属、ポジション、性との関連について	共著	2022	スポーツパフォーマンス研究, 14: 317-334.	大山泰史、青柳 領 八板昭仁、田方慎哉 小牟礼育夫、川面 剛 案浦知仁、長嶺 健
13 バスケットボールの授業におけるテキストマイニングを用いた指導者の指導観の調査	共著	2022	佐世保工業高等専門学校研究報告 59: 61-67.	大山泰史、青柳 領 八板昭仁、田方慎哉 川面 剛、小牟礼育夫 案浦知仁、長嶺 健
14 プロバスケットボール選手の1シーズンにおけるショットの好不調の変動と体格・スタッツとの関連	共著	2022	佐世保工業高等専門学校研究報告 59: 1-9.	田方慎哉、青柳 領 小牟礼育夫、大山泰史
15 バスケットボールの「基本的な合わせ場面」での状況判断知識と諸要因の関連	共著	2022	佐世保工業高等専門学校研究報告 59: 47-85.	大山泰史、青柳 領 八板昭仁、小牟礼育夫 田方慎哉、長嶺 健 案浦知仁
○学会発表				
1 2つの測定値を持つパフォーマンステストの評価法ーバスケットボールのフィールドゴールテストー	共同	2022	日本体育・スポーツ健康学会 第72回大会 8月31日～9月2日 順天堂大学さくらキャンパス	青柳 領、小牟礼育夫 田方慎哉、長嶺 健
2 バスケットボールの速攻時の状況認知に関する基礎的知識の因子構造	共同	2022	日本体育・スポーツ健康学会 第72回大会 8月31日～9月2日 順天堂大学さくらキャンパス	八板昭仁、青柳 領 倉石 平、野寺和彦 長嶺 健、大山泰史
3 バスケットボールにおけるリバウンド技能の専門種目別縦断的变化	共同	2022	日本体育・スポーツ健康学会 第72回大会 8月31日～9月2日 順天堂大学さくらキャンパス	案浦知仁、青柳 領 長嶺 健、小牟礼育夫 田方慎哉、大山泰史
4 体育系大学バスケットボール授業を対象とした主観的状況判断の要因についてーElferink-Gemseret al.との要因の比較ー	共同	2022	日本体育・スポーツ健康学会 第72回大会 8月31日～9月2日 順天堂大学さくらキャンパス	長嶺 健、青柳 領 小牟礼育夫、八板昭仁 大山泰史、田方慎哉 案浦知仁
5 A comparative study of convenience and satisfaction between comprehensive community sports clubs and ordinary public sports clubs	共同	2022	The 24th Annual Congress of the European College of Sport Science, Sevilla, Spain, 30 August - 2 September.	Sakaguchi, H. Aoyagi, O., Annoura, T. Seo, Y., Choi, T., Han, N., Hong, T., Koo, K., Nam, Y.
6 Is side-shot skill in basketball influenced by experience in sports events, length of past basketball experience, gender, and standing height?	共同	2022	The 24th Annual Congress of the European College of Sport Science, Sevilla, Spain, 30 August - 2 September.	Tagata, S., Aoyagi, O., Komure, I., Nagamine, K., Ohyama, Y

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
7 Longitudinal changes in passing and running skills for agility in basketball according to specialized sports events	共同	2022	The 24th Annual Congress of the European College of Sport Science, Sevilla, Spain, 30 August - 2 September.	Aoyagi, O., Komure, I., Nagamine, K., Tagata, S.
8 Preference patterns for exercise/sports according to the number of people participating	共同	2022	The 24th Annual Congress of the European College of Sport Science, Sevilla, Spain, 30 August - 2 September.	Ito, H., Sakaguchi, H., Annoura, T., Aoyagi O., Choi, T., Han, N., Hong, Y., Koo, K., Nam, Y., Seo, Y.
9 The characteristics of general malaise/ indefinite complaints in Japanese children as examined by latent class analysis	共同	2022	The 24th Annual Congress of the European College of Sport Science, Sevilla, Spain, 30 August - 2 September.	Ikeda, To., Ikeda, Ta., Sakaguchi, H., Annoura, T., Aoyagi, O., Hong, Y., Han, N., Choi, T., Nam, Y., Koo, K., Seo, Y.
10 The PE-class effects of ball handling skills in basketball according to specific sports events	共同	2022	The 24th Annual Congress of the European College of Sport Science, Sevilla, Spain, 30 August - 2 September.	Nagamine, K., Aoyagi, O., Komure, I., Yaita, A., Tagata, S., Annoura, T., Ohyama, Y.
11 The relationship between bounce-shot skills and various factors in basketball examined using a mixed linear model	共同	2022	The 24th Annual Congress of the European College of Sport Science, Sevilla, Spain, 30 August - 2 September.	Ohyama, Y., Aoyagi, O., Komure, I., Tagata, S., Nagamine, K.
12 Knowledge for decision-making in basketball games in university PE classess: Influence from athletic experience in elementary, junior high and high school	共同	2022	10th East Asian Alliance of Sport Pedagogy. Taiwan, Virtual Conference Website. December, 3rd 2022.	Nagamine, K. and Aoyagi, O.
13 2つの測定値を持つパフォーマンステストの評価法ーバスケットボールのBounce and shotテストー	共同	2022	九州体育・スポーツ学会第71回大会, 九州保健福祉大学. 8月27日～28日	青柳 領、小牟礼育夫 長嶺 健、田方慎哉
14 バスケットボールにおける主観的状況判断能力のバスケットボール以外の種目間差	共同	2022	九州体育・スポーツ学会第71回大会, 九州保健福祉大学. 8月27日～28日	長嶺 健、青柳 領 小牟礼育夫、田方慎哉 大山泰夫、案浦知仁
15 バスケットボールの「基本的な合わせ場面」での状況判断知識と諸要因との関連	共同	2022	日本バスケットボール学会第9回学会大会. 南山大学. 12月17日	大山泰史、青柳 領 八板昭仁、小牟礼育夫 田方慎哉、長嶺 健 案浦知仁
16 バスケットボール選手と他種目選手における状況判断知識の違い	共同	2022	日本バスケットボール学会第9回学会大会. 南山大学. 12月17日	長嶺 健、青柳 領 小牟礼育夫、八板昭仁 大山泰史、田方慎也 案浦知仁

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
17 バスケットボールの状況判断に関する基礎的知識の高校生と大学生の獲得傾向	共同	2022	日本バスケットボール学会第9回学会大会. 南山大学. 12月17日	八板昭仁、青柳 領 大山泰史、長嶺 健
18 バスケットボールにおける状況判断での正しい選択の多様性について―基本的な合わせ場面における指導者の選択―	共同	2023	日本コーチング学会第34回大会. 日本体育大学世田谷キャンパス2月28日	大山泰史、青柳 領 八板昭仁、小牟礼育夫 田方慎哉、長嶺 健 案浦知仁
19 バスケットボールの状況判断能力の主観的自信と客観的知識テストとの関連	共同	2023	日本コーチング学会第34回大会. 日本体育大学世田谷キャンパス2月28日	長嶺 健、青柳 領 小牟礼育夫、八板昭仁 田方慎哉、大山泰史 案浦知仁
20 全日本大学選手権大会出場チームにおけるコーチ・競技者間の人間関係と集約的効力感・集団凝集性との総合的関連―地方ブロック代表バスケットボールチームを対象として―	共同	2023	日本コーチング学会第34回大会. 日本体育大学世田谷キャンパス2月28日	八板昭仁・青柳 領 倉石 平・長嶺 健 大山泰史

乾 真寛

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Effects of aquatic exercise training on physical performance and mood states in young male athletes. Translational Journal of the ACSM, 8(1) : e000218, 2023	共著			Ryoma Michishita, Taijiro Hide, Shotaro Kawakami, Yuta Kanegawa, Kohei Takayanagi, Masahiro Inui, Yoshinari Uehara, Yasuki Higaki
2 小学6年生児童を対象とした平衡能力診断の有用性検証結果について	共著		福岡大学教職課程センター紀要7号.Pp151-pp156	泉原嘉郎、乾 真寛
○学会・研究協議会				
1 合同シンポジウム基調講演「育て上手のコーチング」～大学スポーツで磨く個性の伸ばし方～	単独	令和4年7月11日	第52回九州地区大学保健管理研究協議会(於 福岡大学)	乾 真寛
2 福岡大学スポーツ・健康まちづくりコンソーシアム スポーツ庁委託事業成果報告会 FUスポまちコンソーシアム成果報告	単独	令和5年3月6日	大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業 (UNIVAS主催)	乾 真寛
○その他 朝日新聞連載コラム				
1 戦術・資力、挑み続ける鳥栖	単著	2022年5月	朝日新聞(西部版) サッカーウォッチ	乾 真寛
2 原石見守る楽しみ、町野にみる	単著	2022年9月	朝日新聞(西部版) サッカーウォッチ	乾 真寛

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
3 熊本躍進、九州は人を育てる	単著	2022年11月	朝日新聞(西部版)サッカーウォッチ	乾 真寛
4 伸びる若手、鳥栖流育成に学ぶ	単著	2023年1月	朝日新聞(西部版)サッカーウォッチ	乾 真寛
5 アビスパ、観戦「楽しむ」チームに	単著	2023年3月	朝日新聞(西部版)サッカーウォッチ	乾 真寛

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 一般社団法人 全日本大学サッカー連盟副理事長(専務理事)	令和4年9月2日～現在に至る	
2 一般社団法人 大学スポーツ協会(UNIVAS)デュアルキャリア委員会(研修部会員)	平成31年3月1日～現在に至る	
3 日本放送協会(NHK)九州・沖縄地方放送番組審議委員	令和元年11月1日～現在に至る	
○研修事業講師		
1 広島県教育委員会学校体育スポーツ研修事業(サッカー指導専門講座)	令和4年9月22日	中学校、高等学校、特別支援学校の教員、運動部活動の外部指導者、部活動指導員対象の研修事業
2 福岡県スポーツ振興センター@トレーニング指導者研修会	令和4年10月20日	学校における部活動指導者の指導力向上を図ることを目的とする研修事業
○地域連携・社会貢献活動		
1 福岡大学スポーツ・健康まちづくりコンソーシアム幹事会 幹事長	令和4年9月14日～現在に至る	
2 福岡大学市民カレッジ講座「キッズサッカー教室」	令和4年9月17日～(全7回)	
3 小学校体育事業支援 体育(サッカー)授業支援、教育委員会・横手小学校(2/1～2/3)・弥永小学校(2/8～2/9)	令和5年2月1日～2月9日	
4 キリンビバレッジ少年サッカー教室(全2回)	令和4年9月17日～10月15日	
5 ふれあいスポーツフェスタ2022「障がい者サッカー大会」支援 第15回九州四国スキャンピオカップ	令和4年12月4日	
6 小学生のための体力向上プログラム指導者研修会	令和4年11月24日	

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
サッカー	福岡県サッカー選手権大会	令和4年4月24日	準優勝	(決勝)福岡大学0-0(PK2-4) ギラヴァンツ北九州
サッカー	第45回九州大学サッカートーナメント大会	令和4年7月17日	優勝	(決勝)福岡大学4-1 九州産業大学
サッカー	インディペンデンスリーグ2022九州	令和4年11月13日	優勝	(決勝)福岡大学A2 4-0 福岡大学Bselect
サッカー	第38回九州大学サッカーリーグ	令和4年10月30日	優勝	リーグ無敗優勝
サッカー	第5回九州大学サッカー新人戦	令和4年11月26日	優勝	(決勝)福岡大学2-0 九州産業大学
サッカー	2022年度 卒業生からJリーグプロ選手	令和5年2月1日	4名輩出	
サッカー	デンソーカップ チャレンジサッカー 茨城ひたちなか大会	令和5年3月	プレーオフ 2位	九州学生選抜(福岡大学11名) 全日本選抜(福岡大学1名)

上原 吉就

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 The Validity of Ultra-Short-Term Heart Rate Variability during Cycling Exercise	共著	2023年3月	Sensors, 23(6); 3325-3325.	Tanoue Y, Nakashima S, Komatsu T, Kosugi M, Kawakami S, Kawakami S, Michishita R, Higaki Y, Uehara Y.
2 Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitor Sitagliptin Phosphate Accelerates Cellular Cholesterol Efflux in THP-1 Cells.	共著	2023年 1月24日	Biomolecules, 13(2); 228-238	Komatsu T, Abe S, Nakashima S, Sasaki K, Higaki Y, Saku K, Miura SI, Uehara Y.
3 Effects of Aquatic Exercise Training on Physical Performance and Mood States in Male Collegiate Soccer Players	共著	2023年	Translational Journal of the American College of Sports Medicine, 8(1);	Ryoma Michishita, Taijiro Hide, Shotaro Kawakami, Yuta Kanegawa, Kohei Takayanagi, Masahiro Inui, Yoshinari Uehara, Yasuki Higaki
4 骨格筋を介した血糖コントロールに人工甘味料がおよぼす影響	共著	2022年9月	バイオクリニカ, 37(10): 925-929.	山本泰暉、上原吉就

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
5 The moderate-intensity continuous exercise maintains renal blood flow and does not impair the renal function	共著	2022年8月4日	Physiological Reports 10(15)	Shotaro Kawakami, Tetsuhiko Yasuno, Saki Kawakami, Ai Ito, Kanta Fujimi, Takuro Matsuda, Shihoko Nakashima, Kosuke Masutani, Yoshinari Uehara, Yasuki Higaki, Ryoma Michishita
6 Intermittent Exercise at Lactate Threshold Induces Lower Acute Stress than Its Continuous Counterpart in Middle-to-Older Aged Men.	共著	2022年6月	Int. J. Environ. Res. Public Health 19(12) 7503-7503	Yamamoto, T, Tanoue, Y, Uehara, Y, Higaki, Y, Tanaka, H, Narazaki, K
7 人工甘味料の糖代謝、骨格筋へおよびその影響	共著	2022年4月	Medical Science Digest 48(4 (633)) 209-211.	山本泰暉、上原吉就
8 Cognitive Improvement After Aerobic and Resistance Exercise Is Not Associated With Peripheral Biomarkers.	共著	2022年	Front Behav Neurosci. 16 853150	Ando S, Komiyama T, Tanoue Y, Sudo M, Costello JT, Uehara Y, Higaki Y
○学会発表				
1 人工甘味料の骨格筋への作用とアスリートへの影響	単著	2022年12月	第20回日本機能性食品医用学会総会、京都	上原吉就
2 A novel method to determine plasma noradrenaline threshold during exercise by using heart rate variability	共著	2022年6月	ACSM' 2022 annual conference、サンディエゴ	Yukiya Tanoue, Tomohiro Komatsu, Shihoko Nakashima, Takuro Matsuda, Ryoma Michishita, Yasuki Higaki, Yoshinari Uehara
3 運動後の筋温度維持リカバリーウェアによる筋肥大促進効果の検討	共著	2022年9月	第77回日本体力医学会、栃木	降旗 謙、田上友季也、津田笑佳、道下龍馬、山本泰暉、中島志穂子、重森 裕、白石篤史、田中啓之、上原吉就
4 HDL mimetics enhances mitochondrial function via stimulation of PGC1-alpha	共著	2022年10月	27th International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy Annual Scientific Meeting (ISCP)、ブカレスト	Hang ZHANG, Tomohiro KOMATSU, Shihoko NAKASHIMA, Satomi ABE, Emi KAWACHI, Satoshi IMAIZUMI, Keijiro SAKU, Yoshinari UEHARA
5 運動時の心拍変動解析による新しい交感神経指標	単著	2022年11月	第6回臨床自律神経機能Forum	上原吉就

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 Fabry Disease Webinar ～切れ目のない医療連携～	令和5年3月17日	講演(タイトル: ファブリー病の切れ目のない医療連携)
2 西日本代謝Conference2023	令和5年3月4日	講演(タイトル: ファブリー病診療の切れ目のない医療連携)

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
3 ファブリー病カンファレンス	令和5年1月20日	講演(タイトル: ファブリー病の診断・治療における成人例を中心とした院内連携)
4 茨城若手医師糖尿病を考える会	令和5年1月13日	講演(タイトル: 循環器・スポーツ科学の立場から考える糖尿病)
5 令和4年度 みやき健幸大学(後期)	令和4年12月15日	講義(タイトル: なぜ、運動はからだに良いのか?)
6 Amicus Fabry Disease Seminar ～家系調査と他科・他施設連携について～	令和4年12月2日	講演(タイトル: ファブリー病における他科・他施設連携について～)
7 ファブラザイムweb seminar	令和4年12月1日	講演(タイトル: 循環器内科専門医が診る!! ファブリー病早期治療開始のためのマルベリー小体の活用について)
8 第44回心筋生検研究会学術集会	令和4年11月12日	スポンサードセミナー 座長
9 The 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension	令和4年10月1日	国際学会 座長
10 第2回循環器ファブリー病フォーラム	令和4年8月6日	講演(タイトル: ファブリー病心病変メカニズム)
11 令和4年度 みやき健幸大学(前期)	令和4年6月29日	講義(タイトル: なぜ、運動はからだに良いのか?)
12 第16回 宮崎心臓リハビリテーションセミナー	令和4年5月31日	講演(タイトル: 心肺機能と骨格筋の役割)

柿本 真弓

社会的活動		
社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 堤丘公民館 元気体操教室	月1回 火曜日	福岡市城南区の堤丘公民館において、高齢者(男女)を対象に体操の指導をした。教室開催は月4回そのうち1回を担当した。
2 金武公民館 元気体操教室	月2回 木曜日 (4月～6月)	福岡市早良区の金武公民館において、高齢者(男女)を対象に体操を指導した。
3 令和4年度 福岡市スポーツリーダーバンク登録指導者フォローアップ研修会 Withコロナを考える 運動不足解消に効果的なエクササイズ	9月17日(土) 14:00～16:00	福岡市立総合体育館において、スポーツリーダーバンク登録指導者12名を対象に体操の指導を行った。
4 市民カレッジ 女性のための元気体操	R4 10月1日～R5 1月28日(土)15:30～17:00	福岡大学第二記念会堂リハビリテーション室において、成人女性を対象に、体操の指導を行った。
5 福岡市ももち体育館 元気体操教室	R4 10月4日～R5 3月14日(火)10:00～11:30	福岡市ももち体育館において、中高齢者を対象に体操の指導を行った。() (全20回中6回担当した。)
6 FUスポまちコンソーシウム カラダづくり講座 ～心身ともに健康を維持しませんか?～	第1回 10月8日(土) 11:00～14:00 第2回 10月23日(日) 14:00～17:00	20台から70台の男女を対象に、カラダづくり講座を開催した。 光安先生が高齢者を対象に、月3回開催している体操教室に講師として招かれ、体操の指導を行った。

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
7 福重公民館光安ストレッチ特別教室 講師	2月22日(水)13:30～14:40 2月23日(木)12:00～12:40	光安先生が高齢者を対象に、月3回開催している体操教室に講師として招かれ、体操の指導を行った。
8 アラカンフェスタ	2月23日(木)12:00～12:40	福岡国際会議場において開催された「アラカンフェスタ」で、集まられたアラカンの男女を対象に、40分間椅子体操を実施した。

競技・指導歴

指導歴

競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要	
新体操競技 審判	全九州学生新体操選手権大会	4月30日(土)		審判業務を遂行した。(以下、サニックスOPENまで同様)	
審判	西日本学生新体操選手権大会	5月25日(水)～27日(金)			
審判長	高体連 インターハイ県大会	5月29日(日)			
審判	全日本学生新体操選手権大会	8月25日(木)～28日(日)			
審判	九州新体操新人大会	10月15日(土)			
副審判長	サニックスCUP	11月18日(金)～20日(日)			
審判長	サニックスOPEN	2月17日(金)～19日(日)			
	令和4年度 全国新体操女子一種審判ルール研修会(オンライン)受講	1月28日(土)・29日(日)			年1回開催される新体操女子一種審判ルール研修会をオンラインで受講した。
	令和4年度 福岡県新体操女子2・3種審判認定講習会において、講師を務めた。	3月12日(日)			福岡大学第二記念会堂で開催された、福岡県新体操女子2・3種審判認定講習会の講師を務めた。
福岡県体操協会理事		平成19年～現在に至る			
福岡市体操協会理事		平成17年～現在に至る			

柿山 哲治

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 2人連鎖交互跳びの技能習得過程における運動課題の検討—体育系大学生を対象として—	共著	令和5年3月	大学体育スポーツ学研究、20、13-21	大坪俊矢、柿山哲治
○学会発表				
1 New Insights on Basketball Transfer in Japan	単独	令和4年5月	2022 Fifty Annual Convention of the North American Society for Sport History (NASSH)	
2 明治期の青山女学院におけるバスケットボールの出現	単独	令和4年6月	日本体育史学会第11回大会	
社会的活動				
社会的活動に関する事項	年 月 日		概 要	
1 熊本県立鹿本高等学校学部ガイダンス	令和4年7月14日		熊本県立鹿本高等学校1年生約70名を対象に、学部ガイダンスと模擬講義60分を2回行った。	

川中 健太郎

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文(原著)				
1 Egg white protein promotes developmental growth in rodent muscle independent of the leucine content.	共著	令和4年	J Nutrition. 152: 117-129, 2022. doi: 10.1093/jn/nxab353. Online ahead of print. PMID: 34610138	Kido K, Koshinaka K, Iizawa H, Honda H, Hirota A, Nakamura T, Arikawa M, Ra S-G, Kawanaka K.
2 Fasting potentiates insulin-mediated glucose uptake in rested and prior-contracted rat skeletal muscle.	共著	令和4年	Am J Physiol Endocrinol Metab. 322(5): E425-E435, 2022. doi: 10.1152/ajpendo.00412.2021. Epub 2022 Mar 28. PMID: 35344394	Kido K, Egawa T, Watanabe S, Kawanaka K, Treebak JT, Hayashi T.

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
3 Effects of Dietary Vitamin D Deficiency on Markers of Skeletal Muscle Mitochondrial Biogenesis and Dynamics.	共著	令和4年	J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo). 68(4): 243-249, 2022. doi: 10.3177/jnsv.68.243. PMID: 36047095	Ra SG, Nakagawa H, Tomiga Y, Iizawa H, Nakashima S, Higaki Y, Kawanaka K.
○学術論文(総説)				
3 骨格筋が担う糖代謝の新知見—運動がもたらす効果とその制御.	共著	令和4年	実験医学増刊. 第40巻、第2号、2022年	木戸康平、川中健太郎 林 達也
○学会発表				
1 不活動によるインスリン抵抗性に対するTXNIPの役割.	共著	令和4年9月21日～23日	第77回日本体力医学会大会 (栃木, Web開催)	尾山瑛祐、木戸康平 中村泰志、渡邊真也 横川 晶、増谷 弘 川中健太郎
2 不活動誘発性インスリン抵抗性を改善する因子の探索.	共著	令和4年9月21日～23日	第77回日本体力医学会大会 (栃木, Web開催)	周桐竹、木戸康平 廣田歩夢、田中景梧 河本絵美、渡邊真也 川中健太郎.
3 TXNIPが運動による骨格筋の糖取り込みに与える影響.	共著	令和4年9月21日～23日	第77回日本体力医学会大会 (栃木, Web開催)	中村泰志、木戸康平 渡邊真也、横川 晶 尾山瑛祐、増谷 弘 川中健太郎
4 不活動に陥る前の事前運動が骨格筋のインスリン抵抗性を防止する分子機序	共著	令和4年9月21日～23日	第77回日本体力医学会大会 (栃木, Web開催)	府川凱、川中健太郎 河本絵美
5 高糖質食摂取による廃用性筋萎縮の抑制	共著	令和4年9月21日～23日	第77回日本体力医学会大会 (栃木, Web開催)	横川 晶、田中景梧 尾山瑛祐、木戸康平 渡邊真也、川中健太郎
6 短期間の運動が骨格筋及び肝臓のnNOS DNAメチル化に及ぼす影響	共著	令和4年9月21日～23日	第77回日本体力医学会大会 (栃木, Web開催)	草野雅貴、坂井一哉 富賀裕貴、伊藤 愛 小杉美貴、中島志穂子 上原吉就、川中健太郎 檜垣靖樹
7 High carbohydrate diet partially prevents disuse-induced atrophy in rat skeletal muscle.	共著	Aug 30 – Sep 2, 2022	European College of Sports Science. Sevilla, España	Yokogawa A, Kido K, Tanaka K, Kawanaka K.

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 日本体力医学会評議員	平成13年から現在に至る	
2 日本体力医学会編集委員	平成27年から現在に至る	
3 日本運動生理学会評議員	平成13年から現在に至る	
4 分子骨格筋代謝研究会幹事	平成21年から現在に至る	
5 九州体育・スポーツ学会理事	令和2年10月から現在に至る	

小牟礼 育夫

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 バスケットボールにおけるルールの理解の構造と所属,ポジション,性との関連について	共著	2022年	スポーツパフォーマンス研究 14巻p.317-334	大山泰史、青柳 領 八板昭仁、田方慎哉 小牟礼育夫、川面 剛 案浦知仁、長嶺 健
2 バスケットボールにおけるリバウンド技能の専門種目別縦断的变化	共著	2022年 12月22日	日本体育・スポーツ・健康学会予稿集 72巻3Gym109-26-14	案浦知仁、青柳 領 長嶺 健、小牟礼育夫 田方慎哉、大山泰史
3 体育系大学バスケットボール授業を対象とした主観的状況判断の要因について	共著	2022年 12月22日	日本体育・スポーツ・健康学会予稿集 72巻3Gym162-79-13	長嶺 健、青柳 領 小牟礼育夫、八板昭仁 大山泰史、田方慎哉 案浦知仁
4 バスケットボールの「基本的な合わせ場面」での状況判断知識と諸要因との関連	共著	2023年 1月31日	佐世保工業高等専門学校研究報告 59巻47-85	大山泰史、青柳 領 八板昭仁、小牟礼育夫 田方慎哉、長嶺 健 案浦知仁
5 プロバスケットボール選手の1シーズンにおけるショットの好不調の変動と体格・スタッツとの関連	共著	2023年 1月31日	佐世保工業高等専門学校研究報告 59巻1-9	田方慎哉、青柳 領 小牟礼育夫、大山泰史
○学会発表				
1 バスケットボール選手と他種目選手における状況判断知識の違い	共著	2022年 12月17日	バスケットボール学会ポスター発表	長嶺 健、青柳 領 小牟礼育夫、八板昭仁 大山泰史、田方慎哉 案浦知仁
2 バスケットボールの「基本的な合わせ場面」での状況判断知識と諸要因との関連	共著	2022年 12月17日	バスケットボール学会口頭発表	大山泰史、青柳 領 八板昭仁、小牟礼育夫 田方慎哉、長嶺 健 案浦知仁
3 Is side-shot skill in basketball influenced by experience in sports events, length of past basketball experience, gender, and standing height?	共著	30 August - 2 September, 2022.	The 27th Annual Congress of the European College of Sport Science	TAGATA, S, AOYAGI, O, KOMURE, I, NAGAMINE, K, OHYAMA, Y.

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 「ふれあいスポーツフェスタ～みんなでバスケット～」開催。進行、サポート。	令和5年1月8日	福岡大学総合体育館にて、那珂川クラブ、総合型地域スポーツクラブHEROSE、福岡県デフバスケットボールクラブEmperors&Emerald、福岡大学バスケットボール男女部員、総勢約60名の選手が参加し、交流試合を実施。

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
バスケットボール	全九州大学バスケットボール新人戦	令和4年5月29日	優勝	女子部監督として指揮をとった。
バスケットボール	全日本大学バスケットボール新人大会	令和4年7月4日	出場	女子部監督として指揮をとった。予選リーグ1勝2敗。
バスケットボール	全日本大学バスケットボール選手権大会	令和4年12月7日	出場	女子部監督として指揮をとった。

重森 裕

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 体育系大学生を対象としたスポーツ関連脳振盪の実態調査	共著	2022年2月	日本臨床スポーツ医学会誌 30(1); 227-233	重森 裕、寺田光輝 福嶋 洋、大坪俊矢 館原宗幸、鶴崎莉乃 山口継太、安高 駿
2 新体操競技におけるスポーツ傷害の実態調査 2018年度のユース世代選手を対象として	共著	2022年2月	日本臨床スポーツ医学会誌 30(1); 248-253	大坪俊矢、重森 裕 福嶋 洋、西田 智 寺田光輝、館原宗幸 秀 泰二郎、柿本真弓
3 福岡大学文系学部におけるスポーツ外傷の実態調査 法学部・経済学部・商学部によるアンケート調査(2017年度)	共著	2022年3月	福岡大学スポーツ科学研究 52(2); 107-115	寺田光輝、重森 裕 大坪俊矢、福嶋 洋 館原宗幸、鶴崎莉乃 山口継太
4 2019-2020福岡大学トレーナーズルーム利用状況報告	共著	2022年3月	福岡大学スポーツ科学研究 52(2); 141-153	秀 泰二郎、後藤恭輔 西田 智、重森 裕 岩本英明
5 Haptoglobin Regulates Macrophage/Microglia-Induced Inflammation and Prevents Ischemic Brain Damage Via Binding to HMGB1	共著	2022年6月	J Am Heart Assoc. 2022 Mar 15;11(6): e024424	Mayuka Morimoto, Takafumi Nakano, Saki Egashira, Keiichi Irie, Kiyoshi Matsuyama, Momoka Wada, Yoshihiko Nakamura, Yutaka Shigemori, Hiroyasu Ishikura, Yuta Yamashita, Kazuhide Hayakawa, Kazunori Sano, Kenichi Mishima
6 職業的柔道競技者におけるスポーツ関連脳振盪の実態調査	共著	2022年7月	九州・山口スポーツ医・科学研究会誌33; 62-65	館原宗幸、重森 裕 大坪俊矢、寺田光輝 鶴崎莉乃、山口継太 福嶋 洋、安高 駿 秀 泰次郎、岩本英明

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
7 男子新体操競技中における演技中断の判断基準の検討 脳振盪疑いに対する対応	共著	2022年7月	九州・山口スポーツ医・科学研究会誌 33; 58-61	大坪俊矢、福嶋 洋 館原宗幸、寺田光輝 山口継太、鶴崎莉乃 柿本真弓、重森 裕 岩本英明
8 A Case of Sport Rehabilitation through the Endoscopic Placement of an Internal Brace for the Ankle Lateral Ligaments that had Re-Ruptured after Reconstruction Surgery	共著	2022年8月	Mega J Case Rep. 2022; 1: 2001-2007	Kyosuke Goto, Yutaka Shigemori, Tomonobu Hagio, Hiroshi Fukushima, Muneyuki Tachihara, Syunya Ootubo, Taijiro Hide
9 大学ラクロス競技における頭部外傷の実態と問題点の検討	共著	2022年9月	日本臨床スポーツ医学会誌 30(3); 714-723, 2022	重森 裕、寺田光輝 福嶋 洋、大坪俊矢 後藤恭輔、館原宗幸 安高 駿、鶴崎莉乃 山口継太
10 西日本大学レスリング競技者におけるスポーツ関連脳振盪の実態調査	共著	2022年9月	日本臨床スポーツ医学会誌 30(3); 618-626.	黒崎辰馬、寺田光輝 重森 裕、福嶋 洋 大坪俊矢、館原宗幸
11 Survey on Sports-Related Concussions among Japanese University Students	共著	2022年10月	Brain Sci. 2022 Nov 16;12(11):1557.	Otsubo S, Shigemori Y, Fukushima H, Tachihara M, Goto K, Terada K, Tsurusaki R, Yamaguchi K, Otsuka N
12 【スポーツと顔面外傷】スポーツ種目別の顔面外傷 柔道(解説)	共著	2023年3月	臨床スポーツ医学 40(3); 290-293	重森 裕、大坪俊矢 館原宗幸、重森香織
○学会発表				
1 新型コロナ禍における福岡大学一般学部大学生に対する応急手当の啓発活動	筆頭	2022年8月5日	第54回日本医学教育学会(ポスター)	重森 裕、大坪俊矢 寺田光輝、山口継太 鶴崎莉乃、大塚奈々 後藤恭輔、館原宗幸 福嶋 洋、武岡宏明
2 運動後の筋温度維持リカバリーウェアによる筋肥大促進効果の検討	共同	2022年9月21日	第77回日本体力医学会(ポスター)	降旗 謙、田上友季也 津田笑佳、道下竜馬 中島志穂子、山本泰暉 重森 裕、白石篤史 田中啓之、上原吉就
3 女子サッカー日本代表と大学競技者による試合中の接触状況についての検討	共同	2022年10月12日	第33回日本臨床スポーツ医学会. 札幌(口演)	鶴崎莉乃、福嶋 洋 山口継太、大坪俊矢 寺田光輝、館原宗幸 後藤恭輔、大塚菜々 重森 裕
4 2022年度 F大学スポーツ科学部1年生を対象とした非観血的な貧血調査	共同	2022年10月13日	第33回日本臨床スポーツ医学会. 札幌(口演)	大塚菜々、吉田一也 鶴崎莉乃、山口継太 大坪俊矢、後藤恭介 福嶋 洋、館原宗幸 寺田光輝、吉村一朗 森口哲史、重森 裕

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
5 スポーツ関連脳振盪と月状骨周囲脱臼を同時受傷した1例 非医療従事者における脳振盪評価の課題	共同	2022年 10月12日	第33回日本臨床スポーツ医学会. 札幌 (ポスター)	大坪俊矢、福嶋 洋 館原宗幸、後藤恭輔 吉田一也、鶴崎莉乃 山口継太、大塚菜々 寺田光輝、吉村一朗 森口哲史、重森 裕
6 大学生を対象としたコロナ禍における応急手当講習に関するアンケート調査.	共同	2022年 10月12日	第33回日本臨床スポーツ医学会. 札幌 (ポスター)	山口継太、寺田光輝 大坪俊矢、鶴崎莉乃 大塚菜々、後藤恭輔 福嶋 洋、館原宗幸 重森 裕
7 体育系大学新生生に対するスポーツ傷害の既往歴と現在の身体問題の実態調査	共同	2022年 10月12日	第33回日本臨床スポーツ医学会. 札幌 (ポスター)	吉田一也、重森 裕 大塚菜々、大坪俊矢 吉村一朗
8 2022年度の体育系大学新1年生を対象とした非観血的貧血調査	共同	2022年 12月3日	第34回九州山ロススポーツ・医学研究会 (口演)	大塚菜々、鶴崎莉乃 山口継太、大坪俊矢 後藤恭輔、館原宗幸 福嶋 洋、重森 裕
9 繰り返しのヘディング動作の影響についての検討	共同	2022年 12月3日	第34回九州山ロススポーツ・医学研究会 (口演)	館原宗幸、大塚菜々 鶴崎莉乃、山口継太 後藤恭輔、大坪俊矢 寺田光輝、福嶋 洋 重森 裕
10 ベースボール型球技におけるスポーツ関連頭部外傷についての検討	共同	2022年 12月3日	第34回九州山ロススポーツ・医学研究会 (口演)	渡邊正和、大塚菜々 鶴崎莉乃、山口継太 後藤恭輔、館原宗幸 福嶋 洋、大坪俊矢 重森 裕
11 頭部外傷事故映像を基にしたスポーツ関連脳振盪発生状況の定量的評価	共同		第46回日本脳神経外傷学会 (口演)	大坪俊矢、張月 琳 福嶋 洋、館原宗幸 後藤恭輔、新居浩平 東登志夫、安部洋 重森 裕
12 腰椎椎間板のmicrospurで引き起こされた脳脊髄液減少症の1例	共同		第46回日本脳神経外傷学会 (口演)	新居浩平、井上律郎 重森 裕、東登志夫
○講演会				
1 スポーツ関連脳振盪の実態	筆頭	2022年 8月27日	九州学生アメリカンフットボール連盟: 西日本新聞会館	重森 裕
2 スポーツと頭部外傷	筆頭	2022年 8月27日	高校生・大学生のための健康スポーツセミナー ～スポーツの価値を守り育む～. 福岡大学メディカルホール	重森 裕

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
3 スポーツ関連脳振盪後を中心とした頭部外傷 ～ハイダイビングに備えて～			2022年度日本水泳ドクター会議・トレーナー会議 九州・沖縄・中国・中国ブロック合同研修会：福岡大学メディカルホール	重森 裕、大坪俊矢 館原宗幸、福嶋 洋 後藤恭輔、大塚菜々 鶴崎 莉乃、山口 継太 寺田光輝、舛田健太郎
○その他				
1 シニア100年ライフ 秋の山歩き 準備編		2022年 9月15日	西日本新聞 P11	取材
2 報！PRIME福岡 囲碁はスポーツだ		2022年 12月17日	朝日新聞 P29	取材
3 医療新世紀 運動の頭部外傷に注意		2023年 1月16日	デーリー東北 P17	取材
4 運動時 頭部外傷に注意		2023年 1月18日	南日本新聞 P12	取材
5 医療新世紀 運動の頭部外傷に注意		2023年 1月19日	山口新聞 P7	取材
6 運動中 脳振とうに注意		2023年 1月20日	高知新聞 P15	取材
7 医療 運動時、頭部外傷に注意		2023年 1月21日	秋田さきがけ P7	取材
8 運動時の頭部外傷に注意を		2023年 1月21日	山陰新聞 P15	取材
9 運動時 頭部のけがに注意		2023年 1月23日	山形新聞 P16	取材
10 健康 運動の頭部外傷に注意		2023年 1月24日	静岡新聞夕刊 P5	取材
11 運動中の「脳振とう」注意		2023年 1月26日	茨木新聞 P15	取材
12 医療新世紀 運動で頭に衝撃 注意		2023年 1月29日	千葉日報 P8	取材
13 スポーツで頭のけがに注意		2023年 1月30日	山陰中央新報 P14	取材
14 運動の頭部外傷に注意		2023年 1月30日	新潟日報 P17	取材
15 スポーツ 頭のけがに注意		2023年 1月30日	北海道新聞 P10	取材
16 運動の頭部外傷に注意		2023年 1月30日	長崎新聞 P10	取材
17 隠れ脳振とうに注意		2023年 1月30日	上毛新聞 P10	取材

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
18 健康 運動で頭に衝撃 ご用心		2023年 1月30日	福島民友 P9	取材
19 自覚ない「隠れ脳振とう」		2023年 1月31日	北日本新聞 P11	取材
20 運動の頭部外傷 要注意		2023年 1月31日	下野新聞 P17	取材
21 からだ スポーツ 頭のけが注意		2023年 2月06日	愛媛新聞 P16	取材
22 頭打ったらすぐ中断		2023年 2月07日	宮崎日日新聞 P11	取材
23 運動時の頭部外傷に注意		2023年 2月09日	信濃毎日新聞 P15	取材
24 脳振とう疑い 対処法の共有を		2023年 2月22日	中國新聞 P12	取材
25 運動の頭部外傷に注意		2023年 2月24日	中部経済新聞 P16	取材
26 UNIVAS AWARDS 2022-2023 最優秀賞		2023年 3月06日	UNIVAS	「安全確保に関する優秀取組賞」
27 スポーツ関連脳振盪について		2023年 3月28日	みらいterminal FM FUJI ACTUS(アクタス) ラジオ番組	取材 (生放送)

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 編集委員 Neurosurgical Emergency (日本脳神経外科救急医学会雑誌:日本)	2014年～	編集委員会 副幹事
2 編集委員 Clinics in surgery: Emergency Surgery (ISSN 2474-1647:米国)	2016年～	Editorial Board
3 編集委員 Acute Medicine & Surgery.AMS-2016-0039 (日本救急医学会英文雑誌)(ISSN:2052-8817:日本)	2016年～	委員
4 日本脳神経外傷学会	2010年～	学術評議員・社員
5 日本脳神経外傷学会	2020年～	理事
6 九州山口頭部外傷研究会	2012年～	世話人
7 日本脳神経外傷学会 頭部外傷データベース委員会	2014年～	委員
8 日本脳神経外科救急学会	2014年～	評議員
9 日本臨床スポーツ医学会 脳神経外科部会	2014年～	部員
10 日本外傷学会 研修カリキュラム・プログラム委員会	2014年～	委員

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
11 日本脳神経外傷学会 スポーツ頭部外傷検討委員会	2015年～	委員
12 福岡市児童虐待防止医療ネットワーク会議	2015年～	委員
13 日本臨床スポーツ医学会	2016年～	評議員
14 日本脳神経外科漢方医学会	2017年～	評議員
15 福岡マラソン実行委員会 医療救護部会	2017年～	委員
16 九州大学サッカー連盟	2020年～	理事(医事委員会 委員長)
17 一般社団法人全日本大学サッカー連盟 医学委員会	2020年～	委員

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
男子ラクロス競技	九州学生ラクロス大会	令和4年11月	準優勝	部長として関与
女子ラクロス競技	九州学生ラクロス大会	令和4年11月	優勝	6年連続優勝

下園 博信

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 実業団ラグビー選手におけるトレーニング合宿前後のコンディショニング変化	共著	令和4年7月	九州・山口スポーツ医・科学研究会誌(33巻1号)	戸田 尊、櫻木規美子 村上 純、下園博信 岩本英明
2 ラグビーにおける負傷交替や一時交替が試合に及ぼす影響について～ラグビーワールドカップ2019日本大会に着目して～	共著	令和4年7月	九州・山口スポーツ医・科学研究会誌(33巻1号)	下園博信、村上 純 戸田 尊、佐々木康 山本 巧、岩本英明
3 2022ラグビーシンポジウムについて	共著	令和5年3月	ラグビージャーナル2	下園博信、佐々木康 山本 巧、村上 純 中川 昭
○著書				
1 電子版 大学生のスポーツと健康 改訂版	共著	令和5年3月	大修館書店	田口晴康、森口哲史 今村律子、下園博信ほか

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学会発表				
1 これからのスポーツをマネジメントする～2020TOKYO後のスポーツの在り方～		令和4年8月	第71回九州体育・スポーツ学会 第一分科会シンポジウム	萩原悟一、霜島広樹 築城昌拓、棟田雅也 下園博信
2 ラグビー科学研究の歴史と未来		令和4年9月	ラグビーシンポジウム	下園博信、佐々木康 村上 純、中川 昭 山本 巧、戸田 尊 鈴木啓太
3 Features of the Japanese National Team at the Rugby World Cup 2019 in Japan		令和4年9月	13th World Congress of Performance Analysis of Sport 2022 & 13th International Symposium on Computer Science in Sport 2022	Hironobu Shimozone, Koh Sasaki, Takumi Yamamoto, Ichiro Watanabe, & Jun Murakami
4 ラグビーフットボールの普及活動についての検討～大人のラグビー体験教室を開催して～		令和5年3月	日本フットボール学会20th Congress	村田優作、築城昌拓 村上 純、下園博信
○その他				
1 ラグビージャーナル第2巻の発刊にあたって		令和5年3月	ラグビージャーナル 2	下園博信、佐々木康
2 フットボールの科学「20周年記念誌」		令和5年3月	日本フットボール学会	編集：宮城 修、下園博信 ほか

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
○学会役員		
1 九州スポーツ心理学会理事	平成27年3月～現在	
2 九州体育・スポーツ学会理事	平成27年9月～現在	
3 日本フットボール学会理事	平成28年3月～現在	
○競技団体関連		
1 ワールドラグビー・コーチングエドゥケーター	平成26年～現在	
2 日本ラグビーフットボール協会 ハイパフォーマンス部門情報科学グループ、コーチ部門委員	平成29年12月～現在	
3 九州ラグビーフットボール協会・理事 大学高専委員会委員、長コーチ委員、強化委員	平成27年4月～現在	
4 日本体育協会認定、日本ラグビーフットボール協会認定A,B級コーチ要請講習会講師		

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
○地域貢献		
1 福岡県タレント発掘事業能力・開発育成プロジェクト委員	平成29年4月～現在	
2 第52回九州地区大学保健管理協議会 講師	令和4年8月	
3 令和3年度「福岡市生涯スポーツ講座」講師		
4 春日市スポーツ審議会委員	令和2年4月～現在	
○出張(模擬)講義		
1 福岡県立筑前高等学校	令和4年7月	
2 宮崎県立日向高等学校(オンライン)	令和4年7月	
3 長崎県立佐世保西高等学校	令和4年7月	
4 愛媛県立八幡浜高等学校	令和4年10月	
5 長崎県立佐世保南高等学校	令和4年10月	
6 佐賀県立佐賀北高等学校	令和4年10月	
7 鹿児島県立川内高等学校	令和4年11月	
8 福岡工業工科大学附属城東高等学校	令和5年3月	

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
1 ラグビーフットボール	令和4年度九州学生ラグビーリーグ戦1部	令和4年9月-11月	4位	本学ラグビー部副部長

田口 晴康

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 ゆか運動の<後方かかえ込み3回宙返り>における習得過程に関する運動学的研究		令和4年8月	第71回九州体育・スポーツ学会	藤戸勇之進、田口晴康 小島廉生

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 日本スポーツ運動学会理事	令和4年度	
2 九州体操協会、福岡県体操協会理事	令和4年度	

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
3 福岡市体操協会副会長	令和4年度	
4 全日本学生体操連盟副会長	令和4年度	

田中 守

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学会発表				
1 福岡大学における四種予防接種に関する動向	共著	令和4年7月	第52回九州地区大学保健管理研究協議会報告書	池邊啓子、出口陽子 森戸夏美、田中 守
2 位相差を意識したメディシンボール・サイド スロートレーニングの有効性に関する研究 ～バットスイングスピードに着目して～	共著	令和4年12月	日本野球科学研究会第9回大会	入部恭一、高島 誠 田中 守

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 日本ハンドボール協会一貫指導システム運営委員	令和4年度	九州運営委員長
2 日本ハンドボール協会評議員	令和4年度	
3 九州ハンドボール協会理事	令和4年度	学識経験者(元理事長)
4 九州学生ハンドボール連盟理事	令和4年度	元理事長
5 福岡県ハンドボール協会副会長	令和4年度	
6 福岡県学生ハンドボール連盟理事	令和4年度	元理事長
7 日本ハンドボール学会会長	令和4年度	
8 日本体力医学会評議員	令和4年度	

競技・指導歴

指導歴

競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
ハンドボール (男子総監督)	九州学生リーグ春季大会 九州学生リーグ秋季大会 西日本学生選手権 全日本学生選手権	4月30日～5月4日 9月8,9,10,16,17日 8月10日～14日 11月3日～7日	優勝 優勝 ベスト8 ベスト16	39シーズン連続55回目 40シーズン連続56回目 準優勝した日本体育大学に敗退

競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
ハンドボール (女子総監督)	九州学生リーグ春季大会 九州学生リーグ秋季大会 西日本学生選手権 全日本学生選手権	4月30日～5月4日 9月8,9,24日 8月10日～14日 11月3日～7日	優勝 優勝 ベスト8 ベスト16	11シーズン連続31回目 12シーズン連続32回目 準優勝した東海大学に敗退

築山 泰典

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表 雑誌等又は発表学 会等の名称	概 要 (共著者名など)
○その他 政策提言 野外教育を通じて子供の育ちを支える ～すべての子供が豊かな自然体験を享受 できる社会を目指して～	共	令和4年7月	日本野外教育学会 文部科学省へ提出	青木康太朗、太田正義 遠藤知里、高瀬宏樹 築山泰典、徳田真彦 野口和行、濱谷弘志 張本文昭、土方 圭 室井修一 (五十音順)

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 福岡市スポーツ協会総務企画委員会委員	平成23年9月～ 現在に至る	
2 福岡市レクリエーション協会 理事	平成19年4月～ 現在に至る	
3 日本レクリエーション協会公認指導者養成 課程認定校研究連絡会議 監事	令和4年4月～ 現在に至る	
4 福岡県キャンプ協会 理事	平成21年5月～ 現在に至る	
5 九州レジャー・レクリエーション学会 理事	平成18年4月～ 現在に至る	
6 日本野外教育学会 理事	平成24年6月～ 現在に至る	
7 独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金審査委員会専門委員会委員	令和2年6月～ 令和3年6月	
8 公益社団法人 日本キャンプ協会 地域連携委員会 委員	平成31年4月～ 現在に至る	
9 公益財団法人福岡YMCA 評議委員	平成25年4月～ 現在に至る	
10 学校法人福岡YMCA 理事	平成29年6月～ 現在に至る	

布目 寛幸

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表 雑誌等又は発表学 会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Reporting guidelines for running biomechanics and footwear studies using three-dimensional motion capture	共著	令和5年 3月4日	SPORTS BIOMECHANICS 2023, VOL. 22, NO. 3, 473–484	Kim Hébert-Losier, Boyi Dai, Hiroyuki Nunome, Pui Wah Kong, Hiroaki Hobara, Wei-Chun Hsu, Elizabeth J. Bradshaw, Daniel T. P. Fong & Benedicte Vanwanseele
2 Comparison of soccer instep kicking kinematics with and without elastic taping	共著	令和5年 3月3日	SPORTS BIOMECHANICS doi.org/10.1080/1476 3141.2023.2184419	Nahoko Sato, Hiroyuki Nunome and Yuichi Mizukami
3 Understanding the effects of ball orientation in Rugby Union place kicking: the preferences of international kickers and the kinematics of the football impact	共著	令和4年 12月29日	SPORTS BIOMECHANICS https://doi.org/10.108 0/14763141.2022.215 9507	Sam Jones, Hiroyuki Nunome, Simon Augustus, James C. A. Peacock, Kevin Balld & Neil E. Bezodis
4 Futsal playing surface characteristics significantly affect perceived traction and change of direction performance among experienced futsal players	共著	令和4年 11月7日	SPORTS BIOMECHANICS https://doi.org/10.108 0/14763141.2022.214 3415	Shariman Ismadi Ismail, Hiroyuki Nunome, Filip Gertz Lysdal, Uwe Gustav Kersting & Yuji Tamura
5 Differences in lower leg kinetics of soccer instep kicking between female and male players	共著	令和4年 10月20日	SPORTS BIOMECHANICS https://doi.org/10.108 0/14763141.2022.213 3738	Tsuyoshi Iitake, Maya Hioki, Hitoshi Takahashi & Hiroyuki Nunome
6 Sex difference in soccer instep kicking	共著	令和4年 10月18日	JOURNAL OF SPORTS SCIENCES VOL. 40, NO. 20, 2217–2224	Tsuyoshi Iitake, Maya Hioki, Hitoshi Takahashi & Hiroyuki Nunome
7 Contribution of lower body segment rotations in various height soccer volley kicking	共著	令和4年 7月3日	SPORTS BIOMECHANICS 2022, VOL. 21, NO. 6, 669–684	Shusei Sugi, Hiroyuki Nunome, Yuji Tamura, Takahito Iga & Mark Lake
8 フットボールのバイオメカニクス: サーフェイス	共著	令和5年 2月28日	フットボールの科学, VOL. 18, 203–214	布目寛幸 & Shariman Ismadi Ismail (日本語翻訳 新海宏成)
9 New predictive model of the touchdown times in a high level 110 m hurdles	共著	令和4年 12月2日	PLoS ONE. 17(12), e0278651	Ryo Iwasaki, Hiroyuki Nunome & Kento Nozawa
10 Kinematic Factors Associated with Hitting Hurdles During the Initial Phase of a 110-m Hurdle Race	共著	令和4年 9月8日	Journal of Human Kinetics. 83, pp 5-12	Ryo Iwasaki, Hironari Shinkai, Hiroyuki Nunome & Nobuyuki Ito

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
11 Elastic taping applied to the rectus femoris muscle alters instep kicking kinematics in soccer	共著	令和4年7月21日	Proceedings of the 40th International Conference on Biomechanics in Sports, Available from https://commons.nmu.edu/isbs/vol40/iss1/150/	Nahoko Sato, Hiroyuki Nunome & Yuichi Mizukami
○学会発表				
1 Do foot inserts improve isometric lifting force?	共著	令和4年7月11日	9th World Congress of Biomechanics Taipei, Taiwan	Hiroyuki Nunome & Mark Lake
2 動力学からみたサッカーインステップキック動作における性差の特徴	共著	令和4年6月18日	第4回慧ひろば、立命館大学	飯竹烈士、日置麻也 高橋 仁、布目寛幸
3 Elastic taping applied to the rectus femoris muscle alters instep kicking kinematics in soccer	共著	令和4年7月21日	40th International Conference on Biomechanics in Sports	Nahoko Sato, Hiroyuki Nunome and Yuichi Mizukami
4 支持脚の動力学から見た女性サッカー選手のインステップキック動作におけるダイナミクス解明	共著	令和4年11月13日	第28回日本バイオメカニクス学会、筑波大学	飯竹烈士、布目寛幸

檜垣 靖樹

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Relationship between Measured Aerobic Capacity and Total Energy Expenditure Obtained by the Doubly Labeled Water Method in Community-Dwelling, Healthy Adults Aged 81-94 Years.	共著	令和4年4月	Geriatrics. 2022, 7(2):48.	Yasukata J, Yamada Y, Sagayama H, Higaki Y, Tanaka H
2 Effects of Dietary Vitamin D Deficiency on Markers of Skeletal Muscle	共著	令和4年5月	J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo). 2022, 68(4): 243-249.	Ra SG, Nakagawa H, Tomiga Y, Iizawa H, Nakashima S, Higaki Y, Kawanaka K
3 Intermittent Exercise at Lactate Threshold Induces Lower Acute Stress than Its Continuous Counterpart in Middle-to-Older Aged Men	共著	令和4年6月	Int J Environ Res Public Health. 2022, 19(12): 7503.	Yamamoto T, Tanoue Y, Uehara Y, Higaki Y, Tanaka H, Narazaki K
4 Behavioral defects and downregulation of hippocampal BDNF and nNOS expression in db/db mice did not improved by chronic TGF-β2 treatment	共著	令和4年8月	Front Physiol. 2022, 13:969480.	Tomiga Y, Higaki Y, Anzai K, Takahashi H

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
5 The moderate-intensity continuous exercise maintains renal blood flow and does not impair the renal function	共著	令和4年8月	Physiol Rep. 2022, (15): e15420.	Kawakami S, Yasuno T, Kawakami S, Ito A, Fujimi K, Matsuda T, Nakashima S, Masutani K, Uehara Y, Higaki Y, Michishita R.
6 Skeletal muscle mass can be estimated by creatine (methyl-d ³) dilution and is correlated with fat-free mass in active young males	共著	令和4年11月	Eur J Clin Nutr. 2022, 77(3): 393-399.	Sagayama H, Yamada Y, Kondo E, Tanabe Y, Uchizawa A, Shankaran M, Nyangau E, Evans WJ, Hellerstein M, Yasukata J, Higaki Y, Ohnishi T, Takahashi H
7 Epigenome-Wide Association Study Identified VTI1A DNA Methylation Associated With Accelerometer-Assessed Physical Activity	共著	令和4年11月	Med Sci Sports Exerc. 2022, 54(11): 1879-1888.	Nishida Y, Hara M, Ohmomo H, Ono K, Shimizu A, Horita M, Shimanoe C, Taguchi N, Higaki Y, Tanaka K.
8 Association of appendicular extracellular-to-intracellular water ratio with age, muscle strength, and physical activity in 8,018 community-dwelling middle-aged and older adults	共著	令和5年1月	Arch Gerontol Geriatr. 2023, 108:104931.	Iwasaka C, Yamada Y, Nishida Y, Hara M, Yasukata J, Miyoshi N, Shimanoe C, Nanri H, Furukawa T, Koga K, Horita M, Higaki Y, Tanaka K
9 Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitor Sitagliptin Phosphate Accelerates Cellular Cholesterol Efflux in THP-1 Cells	共著	令和5年1月	Biomolecules. 2023, 13(2): 228.	Komatsu T, Abe S, Nakashima S, Sasaki K, Higaki Y, Saku K, Miura SI, Uehara Y
10 Delayed Eating Schedule Raises Mean Glucose Levels in Young Adult Males: a Randomized Controlled Cross-Over Trial	共著	令和5年1月	J Nutr. 2023, S0022-3166(22)13770-3.	Hatamoto Y, Tanoue Y, Yoshimura E, Matsumoto M, Hayashi T, Ogata H, Tanaka S, Tanaka H, Higaki Y
11 Effects of Aquatic Exercise Training on Physical Performance and Mood States in Male Collegiate Soccer Players	共著	令和5年1月	Translational Journal of the American College of Sports Medicine 8(1) 2023	Michishita R, Hide T, Kawakami S, Kanegawa Y, Takayanagi K, Inui M, Uehara Y, Higaki Y
12 Dose-response relationship between daily step count and prevalence of sarcopenia: A cross-sectional study	共著	令和5年3月	Exp Gerontol. 2023, 175: 112135.	Iwasaka C, Yamada Y, Nishida Y, Hara M, Yasukata J, Miyoshi N, Shimanoe C, Nanri H, Furukawa T, Koga K, Horita M, Higaki Y, Tanaka K
13 The Validity of Ultra-Short-Term Heart Rate Variability during Cycling Exercise	共著	令和5年3月	Sensors (Basel). 2023, 23(6): 3325.	Tanoue Y, Nakashima S, Komatsu T, Kosugi M, Kawakami S, Kawakami S, Michishita R, Higaki Y, Uehara Y
○特集				
1 エピジェネティクス概論 身体活動とエピゲノム変化の意義	単著	令和4年12月	体育の科学, 2022. 72(12), 805-811	檜垣靖樹
2 運動による抗不安効果を担う海馬のDNAメチル化	共著	令和4年12月	体育の科学. 2022 72(12), 830-836	富賀裕貴、檜垣靖樹

著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表 雑誌等又は発表学 会等の名称	概 要 (共著者名など)
○報告				
1 加速度計で調査した地域在住高齢者の身体活動 福岡那珂川研究	共著	令和4年6月	運動疫学研究: Research in Exercise Epidemiology. 2022, 24(1) 52-53	古瀬裕次郎、武田典子 池永昌弘、山田陽介 森村和浩、木村みさか 清永 明、檜垣靖樹
○学会発表(シンポジウム・ワークショップ)				
1 運動で多くの人を笑顔にするために— 体力科学から医学へのアプローチ—	共同	令和4年8月	第31回日本病態生理 学会大会	古瀬裕次郎、檜垣靖樹
2 健康な時間を創造するスロージョギン グのエビデンスと実践	単独	令和4年9月	第37回日本健康科学 学会	檜垣靖樹
3 運動療法指導の基礎と実践	単独	令和4年10月	第60回日本糖尿病学 会九州地方会	檜垣靖樹
4 結果にコミットする肥満症診療チーム の育成とマネジメント～運動療法の視 点より考える～	単独	令和4年12月	第43回日本肥満学 会・第40回日本肥満 症治療学会	檜垣靖樹
5 大豆タンパク質による抗肥満効果のメ カニズム	共同	令和4年12月	第20回日本機能性食 品医学会	木戸康平、渡邊真也 伊藤 愛、草野雅貴 後藤弥生、相磯知里 鈴木利雄、道下竜馬 川中健太郎、檜垣靖樹
○学会発表				
1 地域在住高齢者における内側側頭部 の萎縮と身体活動強度の関係—福岡 アイランドシティ研究—	共同	令和4年4月	第23回 七隈アルツ ハイマー・パーキンソ ン病研究会	富賀(高江)理恵、 畑本陽一、古瀬裕次郎 富賀裕貴、安方 惇 小見山高明、池永昌弘 檜垣靖樹
2 TGF- β 2の慢性投与は、2型糖尿病モ デルマウスにおける不安様行動の増 加、海馬のBDNFおよびnNOS発現の 低下に影響を及ぼさない	共同	令和4年5月	第65回日本糖尿病学 会年次学術集会	富賀裕貴、檜垣靖樹 高橋宏和、安西慶三
3 nNOS DNA Methylation level and nNOS μ gene expression in the differentiation of primary myoblasts.	共同	令和4年5月	The 69th American College of Sports Medicine Annual Meeting & World Congress	Kusano M, Sakai K, Kitajima Y, Ito A, Kawanaka K, Nakashima S, Uehara Y, Higaki Y
4 Examination for Estimating of Noradrenaline Threshold using Heart Rate Variability	共同	令和4年5月	The 69th American College of Sports Medicine Annual Meeting & World Congress	Tanaue Y, Komatsu T, Nakashima S, Matsuda T, Michishita R, Higaki Y, Uehara Y
5 柔道選手の夏季トレーニング期におけ るエネルギーおよび水分必要量	共同	令和4年6月	第76回日本栄養・食 糧学会	近藤衣美、内沢彰子 田中喜晃、平岡拓晃 岡田弘隆、渡部厚一 阿部拓馬、蟻崎洗太 小杉美貴、伊藤 愛 檜垣靖樹、下山寛之

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
6 短期間の運動が骨格筋及び肝臓のnNOS DNAメチル化に及ぼす影響	共同	令和4年9月	第77回日本体力医学会大会	草野雅貴、坂井一哉 富賀裕貴、伊藤 愛 小杉美貴、中島志穂子 上原吉就、川中健太郎 檜垣靖樹
7 要介護認定を受けた後期高齢者の身体活動レベルと身体機能の特徴	共同	令和4年9月	第77回日本体力医学会大会	富賀理恵、園田剛之 畑本陽一、古瀬裕次郎 安方 惇、山本泰暉 上原吉就、檜垣靖樹
8 重水素標識クレアチン法を用いた鍛錬者における全身骨格筋量評価の妥当性	共同	令和4年9月	第77回日本体力医学会大会	下山寛之、山田陽介 近藤衣美、田名辺陽子 内沢彰子、安方 惇 檜垣靖樹、大西貴弘 高橋英幸
9 Measuring urinary energy loss in community-dwelling and independent middle-aged and older adults	共同	令和4年10月	Recent Advances & Controversies in the Measurement of Energy Metabolism 2022	Hamada Y, Tomiga-Takae R, Watanabe D, Yasukata J, Kose Y, Komiyama T, Tanoue Y, Nakagata T, Yoshida T, Nakayama Y, Yamada Y, Tanaka H, Yoshimura E, Higaki Y, Hatamoto Y
10 Effects of dietary vitamin D deficiency on markers of skeletal muscle mitochondrial biogenesis, dynamics, and quality control	共同	令和4年12月	22nd IUNS-ICN International Congress of Nutrition	Ra SG, Nakagawa H, Tomiga Y, Iizawa H, Nakashima S, Higaki Y, Kawanaka K
11 Relationship between water turnover and body composition, training time, and environment in Judo athletes during the summer training season	共同	令和4年12月	International Sport + Exercise Nutrition Conference 2022	Kondo E, Uchizawa A, Hiraoka H, Okada H, Watanabe K, Tanabe Y, Kosugi M, Ito A, Takahashi H, Higaki Y, Silva AM, Sagayama H
12 一般中高年者における筋力低下と歩数の用量反応関係:J-MICC study SAGA	共同	令和5年2月	第33回日本疫学会学術総会	岩坂知治、山田陽介 西田裕一郎、原めぐみ 安方 惇、三好伸幸 島ノ江千里、南里妃名子 古川拓馬、古賀佳代子 檜垣靖樹、田中恵太郎
13 加速度計で測定した身体活動と血清NT-proBNPの横断的関連:J-MICC study—佐賀地区	共同	令和5年2月	第33回日本疫学会学術総会	西田裕一郎、原めぐみ 田口尚人、島ノ江千里 堀田美加子、檜垣靖樹 田中恵太郎

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 公財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団学術委員	令和4年4月1日～	研究助成の審査と評価
2 福岡県立スポーツ科学情報センタースポーツアドバイザー	令和4年4月1日～	スポーツ医事・健康体力相談講師
3 福岡県農協健康保険組合健康管理事業企画委員	令和4年4月1日～	福岡県農協健康保険組合の健康関連事業支援

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
4 福岡県すこやか健康事業団学術専門部会委員	令和4年4月1日～	福岡県すこやか健康事業団の学術研究の向上支援
5 いきいき福岡健康づくり推進協議会委員	令和4年4月1日～	福岡県の健康づくり推進に係る支援
6 九州学生ヨット連盟会長・全日本ヨット連盟副会長	令和4年4月1日～	学生ヨット連盟の運営に係る事項
7 ランニング学会理事	令和4年4月1日～	学会の運営に係る事項
8 九州体育スポーツ学会副会長	令和4年4月1日～	学会の運営に係る事項
9 日本体力医学会評議員	令和4年4月1日～	学会の運営に係る事項
10 日本腎臓リハビリテーション学会代議員	令和4年4月1日～	学会の運営に係る事項
11 七隈アルツハイマー・パーキンソン研究会世話人	令和4年4月1日～	学会の運営に係る事項
12 日本介護福祉健康づくり学会理事	令和4年4月1日～	学会の運営に係る事項
13 ふくおか健康づくり県民会議幹事会	令和4年4月1日～	県民の健康づくりに関する学術的支援
14 健康運動指導士講習会	令和4年8月29日	脂質異常症の運動療法に関する講義
15 佐賀県総合保健協会特定保健指導研修講師	令和4年11月3日	身体活動・運動に関する保健指導
16 日田市健康づくり講演	令和4年11月26日	健康づくりに関する市民講座
17 朝倉市健康づくり講演	令和4年12月11日	健康づくりに関する市民講座
18 スロージョギングに係る講演	令和5年1月28日	福岡県医療介護部、ふくおか健康づくり県民運動の一貫
19 福岡市立西体育館評価委員会	令和5年2月15日	学部評価委員として参画

藤井 雅人

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Lucid Dream Sport Practice in Japanese College Athletes: A Questionnaire Study	共著	令和4年5月	International Journal of Sport and Health Science, Vol.20, pp. 117-122	総頁数 6 頁 Daniel Erlacher, Masato Fujii, Shunichi Tazuke, Tetsuji Sugiyama, Florian Ganzert, Tadas Stumbrys, Michael Schredl
2 コロナ禍に入学したスポーツ科学部初年次学生のコンピテンシー	共著	令和4年11月	福岡大学スポーツ科学研究 第53巻 第1号 (通算97号) pp.1-10	総頁数 10 頁 古瀬裕次郎*、西田 智* 藤井雅人、山口幸生 (* 共同第一著者)
3 スポーツ科学部初年次学生のコンピテンシーと学業成績の関連	共著	令和5年2月	福岡大学教育開発支援機構紀要 第5号 pp. 31-47	総頁数 17 頁 古瀬裕次郎、西田 智 藤井雅人、山口幸生

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
4 福岡県における公共スポーツ施設の利用における実態と課題ー施設の予約システムに着目してー	共著	令和5年3月	福岡スポーツ医科学 研究 第11巻 pp. 15-20	総頁数 6 頁 霜島広樹、長野史尚 藤井雅人
○学会発表				
1 ドイツにおけるスポーツクラブ事情ーその歴史的系譜とわが国のスポーツクラブ文化創造のヒントーー基調講演ー	単独 (基調講演者)	令和4年12月	大分県スポーツ学会第13回学術大会(J:COM ホルトホール大分)	藤井雅人
2 地方大都市の私立大学スポーツ専門学部新入生のセグメンテーション	共同	令和5年3月	九州地区大学体育連合 2022(令和4)年度春期研修会「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」/全国大学体育連合「第11回大学体育スポーツ研究フォーラム」(合同開催)(九州産業大学)	山口幸生、藤井雅人
3 ドイツの事例からー特に「終日制学校」でのスポーツ活動に着目してーーシンポジウム「子どものスポーツ環境をめぐる学校と地域の関係を考える」ー	単独 (シンポジスト)	令和5年3月	日本体育・スポーツ経営学会第46回大会(早稲田大学)	藤井雅人
○その他の報告書等				
1 支部活動 九州支部	単著	令和4年12月	全国大学体育連合70周年誌 pp. 76-77	総頁数 2 頁 藤井雅人
2 巻頭言	単著	令和4年12月	体育・スポーツ教育研究 第23巻 第1号 p.1	総頁数 1 頁 藤井雅人
3 企画趣旨ーシンポジウム『「一般体育担当教員に求められるもの」を整理するーその2ー」ー	単著	令和4年12月	体育・スポーツ教育研究 第23巻 第1号 pp. 62-63	総頁数 2 頁 藤井雅人
4 九州地区大学体育/九州体育・スポーツ学会合同企画(九州体育・スポーツ学会第71回大会)「研究ベースの九州地区大学体育連合70年ー大学体育の教育成果の再考ー」	単著	令和4年12月	体育・スポーツ教育研究 第23巻 第1号 pp.45-46	総頁数 2 頁 藤井雅人
5 スポーツ医・科学Q & A『「スポーツ・インテグリティ」とは何ですか?』	単著	令和5年3月	福岡スポーツ医科学 研究 第11巻 pp. 33-34	総頁数 2 頁 藤井雅人

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
○委員・理事等		
1 公益財団法人福岡市スポーツ協会評議員	令和4年4月 ～令和5年3月	

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
2 福岡市スポーツ推進審議会委員	令和4年4月 ～令和5年3月	
4 公益財団法人福岡県スポーツ協会スポーツ医・科学委員	令和4年4月 ～令和5年3月	
5 九州レジャー・レクリエーション学会副会長	令和4年4月 ～令和5年3月	
6 九州地区大学体育連合会長	令和4年4月 ～令和5年3月	
7 公益社団法人全国大学体育連合理事(九州支部長)	令和4年4月 ～令和5年3月	
8 日本体育・スポーツ・健康学会体育社会学専門領域評議員	令和4年4月 ～令和5年3月	
9 西日本学生レスリング連盟理事	令和4年4月 ～令和5年3月	
○研修会講師、講演等		
1 うきは市人権・同和教育事業出前講座講師	令和4年11月14日 (うきは市立総合体育館(うきはアリーナ))	同出前講座でアリーナ職員に、「ジェンダーで読み解く『性』とスポーツ」と題して、伝統的にジェンダーと不可分に展開されてきた近代スポーツのジェンダー的観点から見た現状と課題について講演した。
2 筑紫地区小学校保健安全教育研究会(保健主事会)講演会講師	令和5年2月27日 (筑紫野市文化会館)	筑紫地区小学校保健主事を対象に、「ジェンダーで読み解く『性』と体育・スポーツ」と題して、伝統的にジェンダーと不可分に展開されてきた近代スポーツおよびそれを教材とする学校体育について、ジェンダー的観点から見た現状と課題について講演した。

道下 竜馬

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 The validity of ultra-short-term heart rate variability during cycling exercise	共著	令和5年3月	Sensors 23 (6): 3325, 2023.	Tanoue Y, Nakashima S, Komatsu T, Kosugi M, Kawakami S, Kawakami S, Michishita R, Higaki Y, Uehara Y
2 Effects of aquatic exercise training on physical performance and mood states in male collegiate soccer players	共著	令和5年1月	Transl J Am Coll Sports Med 8 (1): e000218, 2023.	Michishita R, Hide T, Kawakami S, Kanegawa Y, Takayanagi K, Inui M, Uehara Y, Higaki Y
3 The ratio of heart rate to heart rate variability reflects sympathetic activity during incremental cycling exercise	共著	令和4年11月	Eur J Sport Sci 22 (11): 1714-1723, 2022.	Tanoue Y, Komatsu T, Nakashima S, Matsuda T, Michishita R, Higaki Y, Uehara Y

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
4 The moderate-intensity continuous exercise maintains renal blood flow and does not impair the renal function	共著	令和4年8月	Physiol Rep 10 (15): e15420, 2022.	Kawakami S, Yasuno T, Kawakami S, Ito A, Fujimi K, Matsuda T, Nakashima S, Masutani K, Uehara Y, Higaki Y, Michishita R
5 技術的要素に対する自己評価と50mクロール泳速度の関係性について	共著	令和4年5月	福岡大学スポーツ科学研究 53 (1): 19-29, 2022.	田場昭一郎、平野雅巳 金川悠太、道下竜馬 森誠 護、松波 勝
6 認知症グループホームに入居する高齢女性を対象とした栄養状態と筋肉量および筋力の関連性	共著	令和4年4月	日本病態栄養学会誌 25 (2): 157-168, 2022.	河野真莉菜、熊原秀晃 塩瀬圭佑、道下竜馬 安武健一郎
○学会発表				
1 持続的な中強度運動は糸球体及び尿細管損傷を誘発しない	共著	令和5年3月	第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会	川上翔太郎、安野哲彦 川上咲紀、伊藤 愛 藤見幹太、松田拓朗 中島志穂子、升谷耕介 上原吉就、檜垣靖樹 道下竜馬
2 生活習慣病の治療・予防に向けた新規機能性食品素材大豆タンパク質による抗肥満効果のメカニズム	共著	令和4年12月	第20回日本機能性食品医用学会総会	木戸康平、渡邊真也 伊藤 愛、草野雅貴 後藤弥生、相磯知里 鈴木利雄、道下竜馬 川中健太郎、檜垣靖樹
3 一過性の中強度の持続運動は腎血流量を低下させない	共著	令和4年9月	第77回日本体力医学会大会	川上翔太郎、安野哲彦 川上咲紀、伊藤愛 藤見幹太、松田拓朗 中島志穂子、升谷耕介 上原吉就、檜垣靖樹 道下竜馬
4 アクアフィットネスの実施がアスリートの関節可動域、筋力、気分プロフィールに及ぼす効果	共著	令和4年9月	第77回日本体力医学会大会	道下竜馬、秀泰二郎 川上翔太郎、金川悠太 高柳昂平、乾 真寛 上原吉就、檜垣靖樹
5 運動後の筋温度維持リカバリーウェアによる筋肥大促進効果の検討	共著	令和4年9月	第77回日本体力医学会大会	降旗 謙、田上友季也 津田笑佳、道下竜馬 中島志穂子、山本泰暉 重森 裕、白石篤史 田中啓之、上原吉就
6 パフォーマンス指標としての全身及び部位別のbioelectrical impedance outcomesの有用性	共著	令和4年8月	九州体育・スポーツ学会第71回大会	塩瀬圭佑、高江理恵 田上友季也、山本泰暉 秀泰二郎、道下竜馬 檜垣靖樹、上原吉就
7 A novel method to determine plasma noradrenaline threshold during exercise by using heart rate variability	共著	令和4年7月	The 69th American College of Sports Medicine Annual Meeting & World Congress	Tanoue Y, Komatsu T, Nakashima S, Matsuda T, Michishita R, Higaki Y, Uehara Y

社会的活動		
社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
○社会的活動		
1 日本臨床生理学会 評議員	平成30年11月～	
2 春日市健康づくり推進協議会委員	令和元年7月～	
3 福岡県スポーツ協会 スポーツ医・科学委員会委員	令和2年4月～	
4 大牟田市スポーツ推進審議会委員	令和3年9月～	
5 学術論文の査読 ・BMC Geriatrics ・Hypertens Res ・J Occup Health ・J Occup Health ・Renal Failure ・Sci Rep ・Front Physiol ・Nutrients ・Metabolites ・Renal Failure ・Nutrients ・体力科学 ・Health ・Antioxidants ・Front Cardiovasc Med ・Nutrients	令和4年4月 令和4年4月 令和4年5月 令和4年5月 令和4年6月 令和4年7月 令和4年7月 令和4年8月 令和4年9月 令和4年10月 令和4年10月 令和4年10月 令和4年12月 令和5年1月 令和5年1月 令和5年3月	

村上 純

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 「実業団ラグビー選手におけるトレーニング合宿前後のコンディショニング変化」	共著	令和4年7月	九州・山口スポーツ医・科学研究会誌(33巻1号) P97-P103	戸田 尊、櫻木規美子 村上 純、下園博信 岩本英明
2 ラグビーにおける負傷交替や一時交替が試合に及ぼす影響について～ラグビーワールドカップ2019日本大会に着目して～	共著	令和4年7月	九州・山口スポーツ医・科学研究会誌(33巻1号) P104-P109	下園博信、村上 純 戸田 尊、佐々木康 山本 巧、岩本英明
3 2022 ラグビーシンポジウムについて	共著	令和5年3月	ラグビージャーナル・日本ラグビーフットボール協会 p2-4	下園博信、佐々木康 山本 巧、村上 純 中川 昭
○学会発表				
1 ラグビーフットボールの普及活動についての検討 —大人のラグビー教室を開催して—	共著	令和5年3月	第20回日本フットボール学会	村田優作、築城昌拓 村上 純、下園博信

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
2 Clarifying the structure of serious head and spine injury in youth Rugby Union players	共著	令和4年12月	The World Symposium on Orthopaedics	Koh Sasakia , Ichiro Watanabe and Jun Murakami
3 実業団ラグビー選手におけるトレーニング合宿前後のコンディショニング変化	共著	令和4年1月	九州・山口スポーツ医・科学研究会誌 33 97-103, 2022-07	戸田 尊、櫻木規美子 村上 純、下園博信 岩本英明

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 九州ラグビーフットボール協会理事	平成10年～現在	
2 ワールドラグビー・コーチングエデュケーター	平成16年～現在	
3 日本体育協会公認スポーツ指導者競技力向上ラグビーフットボール上級コーチ	平成14年～現在	
4 日本ラグビーフットボール協会競技力向上九州地区コーチ養成委員	平成17年～現在	
5 日本体育協会「コーチ」、日本ラグビーフットボール協会公認「A級コーチ」養成講習会	令和4年7月27～31日	日本体協の資格「コーチ」、日本ラグビーフットボール協会の資格「A級コーチ」WR(ワールドラグビー)の資格「Level1～2」の講師
6 日本体育協会「指導員」、日本ラグビーフットボール協会公認「B級コーチ」養成講習会	令和4年12月22日～25日	日本体協の資格「指導員」、日本ラグビーフットボール協会の資格「B級コーチ」、WR(ワールドラグビー)の資格「Level1」の講師

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
ラグビーフットボール	令和4年度九州学生ラグビーリーグ戦1部	令和4年9月-11月	4位	本学ラグビー部部長

森口 哲史

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Effects of a 30-minute stay in a hyperbaric environment after intense exercise on muscle oxygenation and anaerobic exercise performance	共	令和4年9月	13th World Congress of Performance Analysis of Sport 2022 & 13th International Symposium on Computer Science in Sport 2022	Koji Kajiwara, Taiki Yamamoto, Yoshinari Uehara and Tetsushi Moriguchi (Corresponding Author)

社会的活動		
社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 日本ハンドボール協会	令和3年4月-現在	参事
2 日本ハンドボール協会 強化本部 体力科学委員会	令和3年4月-現在	委員長
3 ジャパン ライジング スター プロジェクト (J-STAR) 日本スポーツ振興センター／日本ハンドボール協会	令和3年4月-現在	ハンドボール競技 コーチ
4 日本ハンドボール学会 理事	令和3年4月-現在	総務委員長

山口 幸生

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 コロナ禍に入学したスポーツ科学部初年次学生のコンピテンシー	共著	令和4年11月	福岡大学スポーツ科学研究, Vol.53 No.1, 1-10	古瀬裕次郎、西田 智 藤井雅人、山口幸生
2 スポーツ科学部初年次学生のコンピテンシーと学業成績の関連	共著	令和5年2月	福岡大学教育開発支援機構紀要, Vol.5, 31-47	古瀬裕次郎、西田 智 藤井雅人、山口幸生
○学会発表				
1 地方大都市の私立大学スポーツ専門学部新入生のセグメンテーション	共著	令和5年3月	第11回大学体育スポーツ研究フォーラム	山口幸生、藤井雅人

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
2 サッカー審判員のセグメンテーション	共著	令和5年3月	第36回九州スポーツ心理学会	狩野卓海、山口幸生
3 アスリートの感謝が生活満足度に及ぼす影響—心理的負債感の高低による比較—	共著	令和5年3月	第36回九州スポーツ心理学会	石井里穂、戸田夏海 山口幸生
4 サッカー審判活動に関する行動変容ステージ尺度の開発	共著	令和5年3月	日本フットボール学会	狩野卓海、山口幸生 小笠希将、村山さら 下園博信
5 プロテニス選手の試合中における表情表出の特徴と得失点の関係	共著	令和4年10月	第34回日本テニス学会	山口幸生、山口陸人

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 2022年度九州地区大学体育連合主催 体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議における優秀発表賞	令和5年3月	大会における発表タイトル「地方大都市の私立大学スポーツ専門学部新入生のセグメンテーション」の研究に関する受賞

吉村 一郎

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 徒手矯正不可能な外反母趾に対する第一中足骨遠位直線上骨切り術(DLMO)の治療成績	共著	令和4年9月	整形外科と災害外科 71(3)576-579,2022	今田 優、萩尾友宣 吉村一郎、石松哲郎 長友雅也、杉野裕記 山本卓明
2 遠位脛骨斜め骨切り術前後における足関節鏡視所見の比較	共著	令和4年9月	整形外科と災害外科 71(3)571-575,2022	島内 諒、吉村一郎 萩尾友宣、石松哲郎 長友雅也、杉野裕記 山本卓明
3 足関節脱臼骨折と複合靭帯損傷	共著	令和4年3月	Orthopaedics 35(3)1-6,2022	萩尾友宣、吉村一郎
4 Effect of plantar fascia-specific stretching and achilles tendon stretching on shear wave elasticity of the plantar fascia in healthy subjects	共著	令和5年1月	Foot and Ankle Surgery S1268-7731,2023	Sugino Y, Yoshimura I, Hagio T, Ishimatsu T, Nagatomo M, Yamamoto T.
5 Soft tissue stabilization of the hinge position in medial closed wedge distal femoral osoteotomy:an anatomical study	共著	令和4年11月	BMC Musculoskeletal Disord 19;23(1):1105	Oda T, Maeyama A, Yoshimura I, Ishimatsu T, Miyazaki K, Tachibana K, Yoshimitsu K, Yamamoto T.

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
6 Ankle bone morphology affects the size of non-trauma related osteochondral lesions of the talus in skeletally immature children	共著	令和4年11月	J Orthop Sci 30:0949-2658,2022	Ishimatsu T, Yoshimura I, Kanazawa K, Hagio T, Minokawa S, Nagatomo M, Sugino Y, Yamamoto T.
7 Utility of anterior wall of greater trochanter in predicting femoral anteversion angle: a three-dimensional computed tomography-based simulation study	共著	令和4年9月	J Orthop Surg Res 10;17(1):412	Suzuki M, Kinoshita K, Sakamoto T, Seo H, Kinoshita S, Yoshimura I, Yamamoto T.
8 Evaluation of the hindfoot alignment before and after total knee arthroplasty.	共著	令和4年7月	J Clin Orthop Trauma. 9;31:101947	Yamasaki Y, Maeyama A, Miyazaki K, Ishimatsu T, Yoshimura I, Yamamoto T.
9 Reliability of various diastasis measurement methods on weightbearing radiographs in patients with subtle Lisfranc injuries	共著	令和4年4月	keletal Radiol Skeletal Radiol.51 (4)801-804,2022 keletal Radiol	Yuki Sugino, Ichiro Yoshimura, Tomonobu Hagio, Tetsuro Ishimatsu, Masaya Nagatomo, Takuaki Yamamoto.
○著書				
1 距骨骨軟骨損傷	単著	令和5年2月	実践 足の保存療法 130-133, 2023	吉村一朗
2 足関節外側靭帯損傷 慢性足関節不安定症:手術療法:修復術および補強術	単著	令和4年11月	足のスポーツ外傷・障害の診かた 207-2013, 2022	吉村一朗
○学会発表				
1 Freiberg病に対する骨軟骨片固定術の治療経験	共同	令和4年11月	第47回日本足の外科学会学術集会	深川 遼、吉村一朗、萩尾友宣、石松哲郎、杉野裕記、朝長星哉、山本卓明
2 外傷歴のない骨端線閉鎖前症例において三角靭帯付着部がOLTサイズへ及ぼす影響	共同	令和4年11月	第47回日本足の外科学会学術集会	石松哲郎、吉村一朗、金澤和貴、萩尾友宣、藪川 創、杉野裕記、深川 遼、朝長星哉、山本卓明
3 足関節肢位に伴う皮膚表面の血流評価	共同	令和4年11月	第47回日本足の外科学会学術集会	藪川 創、吉村一朗、伊崎輝昌
4 アルカプトン尿症性足関節症に対する鏡視下足関節固定術の治療経験	共同	令和4年11月	第47回日本足の外科学会学術集会	朝長星哉、吉村一朗、萩尾友宣、石松哲郎、杉野裕記、深川 亮、山本卓明
5 外傷歴の無い第1中足骨基部長腓骨筋腱付着部骨折の1例	共同	令和4年11月	第47回日本足の外科学会学術集会	島内 諒、吉村一朗、萩尾友宣、石松哲郎、長友雅也、杉野裕記、山本卓明
6 体育系大学新生に対するスポーツ傷害の既往歴と現在の身体問題の実態調査	共同	令和4年11月	第33回日本臨床スポーツ医学会	吉田一也、重森 裕、大塚菜々、大坪 矢、吉村一朗

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
7 足関節外側靭帯損傷の合理的手術適応	単独	令和4年11月	第33回日本臨床スポーツ医学会	吉村一朗
8 スポーツ関連脳震盪と月状骨周囲脱臼を同時受傷した1例	共同	令和4年11月	第33回日本臨床スポーツ医学会	大坪俊矢、福嶋 洋 館原宗幸、後藤恭輔 吉田一也、鶴崎莉乃 山口継太、大塚菜々 寺田光輝、吉村一朗 森口哲史、重森 裕
9 F大学スポーツ科学部1年生を対象とした非観血的な貧血調査	共同	令和4年11月	第33回日本臨床スポーツ医学会	大塚菜々、吉田一也 鶴崎莉乃、山口継太 大坪俊矢、後藤恭輔 福島 洋、館原宗幸 寺田光輝、吉村一朗 森口哲史、重森 裕
10 DLMO法におけるK-wireの至適刺入位置の検討	共同	令和4年11月	第144回西日本整形・災害外科学会	片岡佑太、萩尾友宣 吉村一朗、石松哲郎 杉野裕記、朝長星哉 深川 遼、山本卓明
11 足底腱膜・アキレス腱ストレッチングが足底腱膜のshear wave elasticityに与える影響	共同	令和4年6月	第143回西日本整形・災害外科学会	杉野裕記、吉村一朗 萩尾友宣、蓑川 創 石松哲郎、長友雅也 山本卓明
12 骨端線閉鎖前の距骨骨軟骨損傷に対する逆行性ドリリングの治療成績	共同	令和4年6月	第143回西日本整形・災害外科学会	蓑川 創、吉村一朗 金澤和貴、萩尾友宣 石松哲郎、長友雅也 杉野裕記、柴田陽三 山本卓明
13 足関節外側靭帯修復術に対するAugmentationの功罪	単独	令和4年6月	JOSKAS-JOSSM 2022	吉村一朗
14 足関節外側靭帯損傷に対する鏡視下足関節外側靭帯修復術	共同	令和4年6月	JOSKAS-JOSSM 2022	萩尾友宣、吉村一朗 山本卓明
15 ダンサーに対する鏡視下足関節外側靭帯修復術の治療成績	共同	令和4年6月	JOSKAS-JOSSM 2022	蓑川 創、吉村一朗 萩尾友宣、柴田陽三 山本卓明
16 足関節外側靭帯損傷の保存治療と限界	筆頭	令和4年5月	第95会日本整形外科学会学術集会	吉村一朗、萩尾友宣 蓑川 層、長友雅也 杉野裕記、山本卓明
17 外傷歴のない骨端線閉鎖前症例におけるOLTサイズと三角靭帯付着部の関連	共同	令和4年7月	第8回九州足の外科研究会	石松哲郎、吉村一朗 金澤和貴、萩尾友宣 蓑川 創、杉野裕記 山本卓明
18 ストレッチングが足底腱膜の力学的特性に及ぼす影響	共同	令和4年7月	第8回九州足の外科研究会	杉野裕記、吉村一朗 萩尾友宣、蓑川 創 石松哲郎、長友雅也 山本卓明

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
19 足部・足関節末梢神経損傷後疼痛に対する骨内包埋術の治療成績	共同	令和4年7月	第8回九州足の外科研究会	金澤和貴、戸倉 晋 浦田健児、今給黎浩志 泉 英樹、吉村一朗 萩尾友宣、石松哲郎 長友雅也、杉野裕記 山本卓明
20 足関節肢位に伴う皮膚表面の血流変化	共同	令和5年2月	第9回九州足の外科研究会	藪川 創、吉村一朗 伊崎輝昌
21 RA治療中に足関節結核を発症し下肢切断に至った1例	共同	令和5年2月	第9回九州足の外科研究会	朝長星哉、吉村一朗 萩尾友宣、前山 彰 村岡邦秀、山崎裕太郎 氷室尚子、三宅勝久 山本卓明
22 鏡視下足関節固定術後の抜釘術が臨床成績に及ぼす影響	共同	令和5年2月	第9回九州足の外科研究会	深川 遼、吉村一朗 萩尾友宣、石松哲郎 杉野裕記、朝長星哉 山本卓明
23 外傷歴のない骨端線閉鎖前症例におけるOLTサイズの影響因子	共同	令和5年2月	第9回九州足の外科研究会	石松哲郎、吉村一朗 金澤和貴、萩尾友宣 藪川 創、杉野裕記 深川 遼、朝長星哉 山本卓明
24 Freiberg病に対する骨軟骨片固定術の治療経験	共同	令和4年12月	第34回九州山口スポーツ医学研究会	深川 遼、吉村一朗 萩尾友宣、石松哲郎 杉野裕記、朝長星哉 山本卓明

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 日本足の外科学会 理事	2022年	
2 日本整形外科学会スポーツ医学会 代議員	2022年	
3 JOSKAS評議員	2022年	
4 日本靴医学会 評議員	2022年	
5 九州足の外科研究会 幹事	2022年	
6 福岡足の外科カンファレンス 世話人	2022年	
7 足の外科臨床研修プログラム 代表世話人	2022年	
8 日本整形外科学会専門医資格認定委員会委員	2022年	
9 Journal of Orthopaedic Science (Editorial Board)	2022年	
10 第47回日本足の外科学会学術集会 査読委員	2022年	
11 日本足の外科学会 広報委員会 委員長	2022年	
12 日本足の外科学会 情報システム委員会 委員長	2022年	

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
13 日本足の外科学会 研究支援委員会 委員長	2022年	
14 日本足の外科学会 教育研修委員会 委員	2022年	
15 JOSKAS-JOSSM 2022 State-of-the-art for ankle instability 座長	2022年6月16日	
16 福岡足の外科カンファレンス 特別講演座長	2022年8月26日	
17 第9回九州足の外科カンファレンス シンポ ジウム”足部・足関節におけるこだわりの理学 療法”座長	2022年2月25日	
18 第96回日本整形外科学会学術集会 査読委 員	2022年	
19 日本足の外科学会雑誌 査読委員	2022年	
20 共用試験医学系臨床実習前OSCE認定評価 者	2022年	
21 第8回九州足の外科研究会 会長	2022年7月2日	

米沢 利広

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 西日本大学バレーボール学連選抜対抗戦 (女子)特別講師	令和4年2月～3月の 期間	西日本地区の大学から選抜された選手・ス タッフ(約100名)に対して、オンデマンド形式 で「女子強化の歩み」というテーマで、講義を 行った。

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
バレーボール競技	九州大学バレーボール 春季女子リーグ戦	令和3年4月24日～ 5月16日	第2位	
	九州大学バレーボール 秋季女子リーグ戦	令和3年9月25日～ 10月31日	第2位	
	全日本大学バレーボール 女子選手権大会	令和3年11月29日～ 12月5日	ベスト16	
	天皇杯・皇后杯全日本 バレーボール選手権大会	令和3年12月10日～ 12日	1回戦敗退	

今村 律子

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学会発表				
1 多様な困難を抱える学生達が共に学べる支援体制と運動プログラムの実践－生涯スポーツ演習(保健コース)取り組みの紹介－		令和4年7月11日(月)～7月29日(金)	令和4年度第52回九州地区大学保健管理研究協議会	合同シンポジウム「スポーツを通じた学生指導」講演Ⅲ、多様な困難さによって通常の体育授業が受講できない学生への支援体制と運動授業など独自の取組みの紹介
社会的活動				
社会的活動に関する事項	年 月 日		概 要	
1 那珂川市立那珂川南中学校学校運営協議会委員	令和4年4月1日～			

坂本 道人

社会的活動		
社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 審判講習会(北九州)	令和5年5月1日	講師
2 令和4年度柔道指導者養成研修会	令和4年6月15日	講師
3 2022年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	令和4年9月10-11日	審判員
4 2022年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会	令和4年10月29-30日	審判員
5 令和4年度公益財団法人全日本柔道連盟公認柔道A指導員養成講習会	令和4年11月26日	講師
6 70周年記念事業 全日本学生柔道形競技大会	令和5年1月27日	審判員

田場 昭一郎

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文(研究資料)				
1 技術的要素に対する自己評価と50mクロール泳速度の関係性について Relationship between self-assessment of technical factors and 50m crawl swimming speed.	共著	令和4年11月	福岡大学スポーツ科学研究 53(1):19-29	田場昭一郎、平野雅巳 金川悠太、道下竜馬 森 誠護、松波 勝

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
○日本水泳連盟 学生委員会 九州支部 副支部長		
1 公益財団法人 日本水泳連盟 学生委員会 競技委員長 代表者会議(オンライン会議:年間11回開催)	令和4年4月～ 令和5年3月	(公財)日本水泳連盟学生委員会の業務(企画・運営・開催) 全国の各支部長による日本水泳連盟学生委員会の選手登録及び競技会の業務(企画・運営・開催)に関する主要会議
2 公益財団法人 日本水泳連盟 学生委員会 九州支部	令和4年5月	第1回 総務委員会
	令和4年6月	第2回 総務委員会
	令和5年3月	第3回 総務委員会(登録説明会)
3 公益財団法人 日本水泳連盟 学生委員会 全国大会(競技運営)	令和4年8月	第69回全国国公立大学選手権水泳競技大会(実行委員本部)
	令和4年8月	第98回日本学生選手権水泳競技大会(実行委員本部)
4 公益財団法人 日本水泳連盟 学生委員会 九州支部 公認競技会(競技運営)	令和4年5月	第8回九州学生春季公認記録会
	令和4年6月	第4回九州学生夏季公認記録会
	令和4年7月	第82回九州学生選手権水泳競技大会(第98回日本学生選手権水泳競技大会予選) 第69回九州地区国公立大学選手権水泳競技大会(第69回全国国公立大学選手権水泳競技大会予選)
	令和4年10月	第3回九州学生秋季公認記録会
	令和4年12月	第28回冬季短水路公認記録会
	令和5年3月	第29回九州学生短水路公認記録会
○地域連携推進センター事業		
1 小学校水泳授業サポート(コロナ感染防止のため中止)	令和4年6月	地域連携推進センターとの連携(小学校の授業サポート) 地域連携推進センターと連携して、小学校の体育の授業(水泳)をサポート

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
2 小学校スノーケリング教室サポート (コロナ感染防止のため中止)	令和4年7月	地域連携推進センターおよび福岡県スノーケリング協会との連携事業として、スノーケリング教室をサポート
○その他 くまもとワールドアスリート事業 選手選考委員会	令和4年4月	熊本県教育委員会による「東京オリンピックに向けたアスリート育成・強化プログラム」の指定選手選考委員会の選考委員

長島 和幸

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 大学体育における柔道授業に関する研究動向について:教育の質保証に向けた今後の研究の方向性の検討	共著	令和5年3月	育英大学研究紀要第5号,25-34	木浪龍太郎、松本隆太郎 長島和幸、根本 想
2 高等学校の特別活動における障がい者アスリートによる講演会の効果検証:「身体障がい者イメージ」に着目して	共著	令和5年3月	育英大学研究紀要第5号,15-24	岡田悠佑、根本 想 乳井勇二、木浪龍太郎 長島和幸
○学会発表				
1 大学体育における講義科目「スポーツ史」の学習内容に関する研究:受講者の自由記述文章に対するテキストマイニングを通じて	共同	令和4年9月25日	日本スポーツ教育学会 第42回学会大会	木浪龍太郎、長島和幸
2 日本におけるレスリングの受容に関する一考察:八田一朗の理念と実践の検討を通じて	共同	令和4年9月25日	日本スポーツ教育学会 第42回学会大会	長島和幸、木浪龍太郎 伊藤 奨

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 公認スポーツ指導者養成のための講師担当	令和5年2月16日	公認レスリングコーチ3の資格取得希望者に対し「レスリングの歴史」と題して講義した。

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
レスリング	ジュニアクイーンズカップ・レスリング選手権大会	令和4年4月9～10日	2位、3位、ベスト8	2位、3位、ベスト8の入賞者をそれぞれ1名、輩出した。
	明治杯全日本選抜選手権大会	令和4年6月16～19日	4位、6位	4位、6位の入賞者をそれぞれ1名、輩出した。

競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
	西日本学生新人戦	令和4年6月25～26日	優勝、2位、3位	優勝者を2名、2位入賞者を1名、3位入賞者を2名輩出した。
	U20アジア選手権	令和4年7月5～10日	5位	日本代表者を輩出し、5位入賞した。
	全日本学生選手権	令和4年8月15～18日	3位、5位	3位入賞者を3名、5位入賞者を2名輩出した。
	西日本学生女子選手権	令和4年10月13～16日	優勝、2位、3位	優勝者を3名、2位入賞者を2名、3位入賞者を2名輩出した。
	西日本学生選手権	令和4年10月13～16日	優勝、2位、3位	優勝者を1名、2位入賞者を2名、3位入賞者を3名輩出した。
	全日本女子オープン選手権	令和4年10月15～16日	2位、3位	2位、3位の入賞者をそれぞれ1名、輩出した。
	全日本大学選手権	令和4年11月19～20日	7位	7位入賞者を1名輩出した。
	ワールドカップ	令和4年12月10～11日	6位	日本代表者を輩出し、6位入賞した。
	全日本選手権	令和4年12月22～25日	5位、8位	5位入賞者を1名、8位入賞者を2名輩出した。

信岡 沙希重

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 男子砲丸投アツオビン・ジェイソン選手における投てき動作の特徴と課題	共著	令和4年10月31日	陸上競技研究、第130号、18-24頁	野口安忠、山本大輔 信岡沙希重、樋口貴俊 前川省吾

社会的活動		
社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 九州学生陸上競技連盟評議員	平成28年4月1日～ 現在に至る	
2 日本陸上競技連盟強化育成部オリンピック強化スタッフ(女子短距離)	平成30年11月1日～ 現在に至る	
3 オレゴン世界陸上競技選手権大会短距離コーチ	令和4年7月7日～ 7月25日	

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
陸上:短距離	日本学生陸上競技個人選手権大会	令和4年4月15日～17日	優勝 5位 6位	女子400m 森山静穂 女子100mH 伊藤彩香 女子200m 城戸優来
	第9回木南道孝記念陸上競技大会	令和4年4月30日 令和4年5月01日	2位 6位	女子200m 城戸優来 女子400m 森山静穂
	第106回日本陸上競技選手権大会	令和4年6月10日	6位	女子400m 森山静穂
	U20日本陸上競技選手権大会	令和4年6月9日～12日	2位 8位 8位	男子110mH 真名子凌成 女子200m 田島美春 女子400m 山下沙弥
	第91回日本学生陸上競技対校選手権大会	令和4年9月9日～11日	3位 3位 4位 6位 優勝 7位 優勝 4位	女子100m 城戸優来 女子200m 森山静穂 女子200m 城戸優来 女子200m 田島美春 女子400m 森山静穂 女子400mH 高野七海 女子4×100mR 女子4×400mR

神田 智浩

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○著書				
1 剣道時代	共著	令和4年10月	体育とスポーツ出版社	表紙 & 巻頭インタビュー

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 2022 International KENDO Seminar	令和4年8月	オランダ・アムステルダムで開催されたインターナショナル剣道セミナーにおいて、実技講師を務めた。
2 福岡市スポーツランドin城南区「剣道教室」	令和4年8月	福岡大学総合体育館にて親子体験型の剣道教室を実施。実技講師を務めた。

競技・指導歴

競技実績				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
剣道	剣道六段審査	令和4年8月	合格	全日本剣道連盟より拝受

指導歴				
剣道(監督)	全九州学生剣道選手権大会	令和4年5月	3名 全日本学生剣道選手権大会に出場	個人戦の大会:全日本予選
剣道(監督)	全日本女子学生剣道選手権大会	令和4年7月	ベスト16	個人戦の大会
剣道(監督)	全日本女子学生剣道選手権大会	令和4年7月	ベスト32	個人戦の大会
剣道(監督)	西日本学生剣道大会	令和4年5月	ベスト16	団体戦の大会
剣道(監督)	西日本女子学生剣道大会	令和4年5月	3位	団体戦の大会
剣道(監督)	全九州剣道大会	令和4年9月	3位	団体戦の大会:全日本予選
剣道(監督)	全九州女子剣道大会	令和4年9月	準優勝	団体戦の大会:全日本予選
剣道(監督)	全日本学生剣道優勝大会	令和4年10月	出場	団体戦の大会
剣道(監督)	全日本女子学生剣道優勝大会	令和4年11月	出場	団体戦の大会

霜島 広樹

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要(共著者名など)
○学術論文 福岡県における公共スポーツ施設の利用における実態と課題:施設の予約システムに着目して	共著	2023年3月	福岡県スポーツ医・科学研究, 11, 15-22.	著者:霜島広樹、長野史尚 藤井雅人
○学会発表 グループレッスンにおける他のメンバーに対する評価がプログラムの満足度・継続意図に及ぼす影響:テニススクールの会員を対象として	単独	2023年3月	日本体育・スポーツ経営学会第46回大会	発表者:霜島広樹
○シンポジウム これからのスポーツをマネジメントする～2020TOKYO後のスポーツの在り方～スポーツにおける「価値共創」の観点から	単独	2023年8月	九州体育・スポーツ学会第71回大会専門分科会シンポジウム	発表者:霜島広樹

社会的活動		
社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 福岡県スポーツ協会スポーツ医・科学委員	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	
2 日本体育・スポーツ・健康学会・体育経営管理 専門領域 運営委員	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	

渡邊 正和

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表 雑誌等又は発表学 会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学会発表				
1 ベースボール型球技におけるスポーツ 関連頭 部外傷についての検討	共著	令和4年 12月3日	第34回九州・山ロス スポーツ医・科学研究 会	渡邊正和、重森 裕 大塚菜々、山口継太 鶴崎莉乃、後藤恭輔 館原宗幸、福嶋 洋 寺田光輝、大坪俊矢

社会的活動		
社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 福岡県タレント発掘事業競技選定評価者	令和4年8月8日	タレント発掘事業競技(野球)評価者としてト ライアウトの評価

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
硬式野球	令和4年度九州六大学野球春季 リーグ戦	令和4年4月9日～ 5月8日	8勝2敗 優勝	野球部副部長として 最優秀選手賞 松尾龍乃 最優秀防御率投手賞 木下里都 首位打者 松尾龍乃 最多打点者賞 松尾龍乃 最多本塁打王 松尾龍乃 ベストナイン 一塁手 松尾龍乃 遊撃手 高良 魁 外野手 園田恵大
	第71回全日本大学野球選手権 記念大会	令和4年6月6日～ 12日	ベスト8	2回戦 九州共立大学戦 2対0 準々決勝 上武大学戦 3対5

競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
	令和4年度九州六大学野球秋季リーグ戦	令和4年9月3日～10月2日	7勝3敗 第2位	優秀選手賞 高良 練 首位打者 松尾龍乃 最多打点者賞 松尾龍乃 ベストナイン 捕手 高良 練 一塁手 松尾龍乃 外野手 園田恵大 外野手 湯浅 幸之介
	第29回九州大学野球選手権大会 予選トーナメント	令和4年10月15日～10月16日		1回戦 別府大学戦 6対3 2回戦 福岡工業大学戦 6対7 四国アイランドリーグplus (独立リーグ) 寺岡丈翔 徳島インディゴソックス 社会人野球 村上幸人 東京ガス 木下里都 KMGホールディングス 西山大成 大福ロジスティクス 松尾龍乃 ミキハウス

岩崎 領

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Kinematic Factors Associated with Hitting Hurdles During the Initial Phase of a 110-m Hurdle Race	共著	2022年8月	Journal of Human Kinetics. 83, pp 5-12	Iwasaki R., Shinkai H., Nunome H. and Ito N.
2 New predictive model of the touchdown times in a high level 110 m hurdles	共著	2022年12月	PLoS ONE. 17(12), e0278651	Iwasaki R., Nunome H. and Nozawa K.
○学会発表				
1 テニスラケット装着型完慣性センサによるスイング動作解析機器としての妥当性検証	共著	2022年11月12日	第28回日本バイオメカニクス学会大会	池永昌弘、岩崎 領 田村雄志、布目寛幸

社会的活動		
社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 XXIX Congress of International Society of Biomechanics Organizing Committee	2022年	
2 XXIX Congress of Japanese Society of Biomechanics Organizing Committee	2022年	

大坪 俊矢

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 男子新体操競技中における演技中断の判断基準の検討 脳振盪疑いに対する対応	共著	令和4年7月	九州・山口スポーツ医・科学研究会誌 33; 58-61	大坪俊矢、福嶋 洋 館原宗幸、寺田光輝 山口継太、鶴崎莉乃 柿本真弓、重森 裕 岩本英明
2 職業的柔道競技者におけるスポーツ関連脳振盪の実態調査	共著	令和4年7月	九州・山口スポーツ医・科学研究会誌33; 62-65	館原宗幸、重森 裕 大坪俊矢、寺田光輝 鶴崎莉乃、山口継太 福嶋 洋、安高 駿 秀 泰次郎、岩本英明
3 大学ラグロス競技における頭部外傷の実態と問題点の検討	共著	令和4年9月	日本臨床スポーツ医学会誌 30(3); 714-723, 2022	重森 裕、寺田光輝 福嶋 洋、大坪俊矢 後藤恭輔、館原宗幸 安高 駿、鶴崎莉乃 山口継太
4 西日本大学レスリング競技者におけるスポーツ関連脳振盪の実態調査	共著	令和4年9月	日本臨床スポーツ医学会誌 30(3); 618-626.	黒崎辰馬、寺田光輝 重森 裕、福嶋 洋 大坪俊矢、館原宗幸
5 Survey on Sports-Related Concussions among Japanese University Students	共著	令和4年11月	Brain Sciences. 12: 1557	Otsubo S., Shigemori Y., Fukushima H., Tachihara M., Goto K., Terada K., Tsurusaki R., Yamaguchi K., Otsuka N.
6 【スポーツと顔面外傷】スポーツ種目別の顔面外傷 柔道(解説)	共著	令和5年3月	臨床スポーツ医学 40(3); 290-293	重森 裕、大坪俊矢 館原宗幸、重森香織
7 2人連鎖交互跳びの技能習得過程における運動課題の検討-体育系大学生を対象として-	共著	令和5年3月	大学体育スポーツ学研究, 20:13-20	大坪俊矢、柿山哲治
○学会発表				
1 スポーツ関連脳振盪と月状骨周囲脱臼を同時受傷した1例-非医療従事者における脳振盪評価の課題-	共同	令和4年11月	第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会	大坪俊矢、福嶋 洋 館原宗幸、後藤恭輔 吉田一也、鶴崎莉乃 山口継太、大塚菜々 寺田光輝、吉村一朗 森口哲史、重森 裕
2 大学生を対象としたコロナ禍における応急手当講習に関するアンケート調査	共同	令和4年11月	第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会	山口継太、寺田光輝 大坪俊矢、鶴崎莉乃 大塚菜々、後藤恭輔 福嶋 洋、館原宗幸 重森 裕
3 体育系大学新生に対するスポーツ傷害の既往歴と現在の身体問題の実態調査	共同	令和4年11月	第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会	吉田一也、重森 裕 大塚菜々、大坪俊矢 吉村一朗

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
4 女子サッカー日本代表と大学競技者による試合中の接触状況についての検討	共同	令和4年11月	第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会	鶴崎莉乃、山口継太 福嶋 洋、大坪俊矢 後藤恭輔、寺田光輝 館原宗幸、吉田一也 大塚菜々、乾 真寛 重森 裕
5 2022年度F大学スポーツ科学部1年生を対象とした非観血的な貧血調査	共同	令和4年11月	第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会	大塚菜々、吉田一也 鶴崎莉乃、山口継太 大坪俊矢、後藤恭輔 福嶋 洋、館原宗幸 寺田光輝、吉村一朗 森口哲史、重森 裕
6 繰り返しのヘディング動作の影響についての検討	共同	令和4年12月	第34回九州・山口スポーツ医・科学研究会	館原宗幸、大塚菜々 鶴崎莉乃、山口継太 後藤恭輔、大坪俊矢 寺田光輝、福嶋 洋 重森 裕
7 ベースボール型球技におけるスポーツ関連頭部外傷についての検討	共同	令和4年12月	第34回九州・山口スポーツ医・科学研究会	渡邊正和、大塚菜々 山口継太、鶴崎莉乃 後藤恭輔、館原宗幸 福嶋 洋、大坪俊矢 重森 裕
8 頭部外傷事故映像を基にしたスポーツ関連脳振盪リスクの定量的評価	共同	令和5年2月	第46回日本脳神経外傷学会	大坪俊矢、張月 琳 福嶋 洋、館原宗幸 後藤恭輔、新居浩平 東登志夫、安部 洋 重森 裕

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 FUスポまち「カラダづくり講座」	令和4年10月	運営スタッフ

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
男子新体操	第74回全日本学生新体操選手権大会	令和4年8月28日	団体 総合5位 個人総合 11位 海谷療摩	監督
男子新体操	第75回全日本新体操選手権大会	令和4年10月30日	個人総合 21位 海谷療摩 27位 田中真奈仁 個人種目別決勝 クラブ8位 海谷療摩	監督

小笠 希将

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Decision uncertainty as a context for motor memory.	共著	2023年3月	bioRxiv	Ogasa, K., Yokoi, A., Okazawa, G., Nishigaki, M., Hirashima, M., & Hagura, N.
2 サッカーにおける認知スキル	単著	2023年2月	フットボールの科学 Vol18、No1、p63-68	
○学会発表				
1 知覚と運動の関係:スポーツ実践への応用		令和5年3月4日(土)13:30 ～5日(日)14:30	九州スポーツ心理学会第36回大会 福岡県(久留米大学御井キャンパス)	特別企画「ベテラン研究者と若手研究者のコラボレーション」 グループA: 兄井 彰 (福岡教育大学)・小笠希将 (福岡大学)

川上 翔太郎

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 The validity of ultra-short-term heart rate variability during cycling exercise	共著	2023年3月	sensors Vol.23 No.6, 3325	Yukiya Tanoue, Shihoko Nakashima, Tomohiro Komatsu, Miki Kosugi, Saki Kawakami, Shotaro Kawakami, Ryoma Michishita, Yasuki Higaki, Yoshinari Uehara
2 Effects of aquatic exercise training on physical performance and mood states in male collegiate soccer players	共著	2023年1月	Translational Journal of the American College of Sports Medicine Vol.8 No.1, e000218	Ryoma Michishita, Taijiro Hide, Shotaro Kawakami, Yuta Kanegawa, Kohei Takayanagi, Masahiro Inui, Yoshinari Uehara, Yasuki Higaki
3 The moderate-intensity continuous exercise maintains renal blood flow and does not impair the renal function	共著	2022年8月	Physiological Report Vol.10 No.15, e15420	Shotaro Kawakami, Tetsuhiko Yasuno, Saki Kawakami, Ai Ito, Kanta Fujimi, Takuro Matsuda, Shihoko Nakashima, Kosuke Masutani, Yoshinari Uehara, Yasuki Higaki, Ryoma Michishita

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学会発表				
1 持続的な中強度運動は糸球体及び尿管損傷を誘発しない	共著	2023年3月	第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会	川上翔太郎、安野哲彦 川上咲紀、伊藤 愛 藤見幹太、松田拓朗 中島志穂子、升谷耕介 上原吉就、檜垣靖樹 道下竜馬
2 アクアフィットネスの実施がアスリートの関節可動域、筋力、気分プロフィールに及ぼす効果	共著	2022年9月	第77回日本体力医学会大会	道下竜馬、秀泰二郎 川上翔太郎、金川悠太 高柳昂平、乾真寛 上原吉就、檜垣靖樹
3 一過性の中強度の持続運動は腎血流量を低下させない	共著	2022年9月	第77回日本体力医学会大会	川上翔太郎、安野哲彦 川上咲紀、伊藤 愛 藤見幹太、松田拓朗 中島志穂子、升谷耕介 上原吉就、檜垣靖樹 道下竜馬

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
○社会的活動		
1 アビスパde運動教室	2020年4月～	講演、実技、心音測定
2 運動教室(地域公民館)	2020年4月～	
3 運動教室(スロージョギング)	2022年9月～	
4 健康運動実践指導者実技評価委員	2022年10月～	
5 学術論文の査読 Clin Interv Aging Clin Interv Aging	2022年4月 2023年3月	

川崎 百合香

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 第10回全日本小中学生ダンスコンクール	令和4年8月15日～ 8月16日	アトラクション出演、ボランティア活動。
2 福岡県公立中学校におけるダンス授業	令和4年2月13日～ 3月13日	中学校体育授業におけるダンス指導。

木浪 龍太郎

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 大学体育における柔道授業に関する研究動向について:教育の質保証に向けた今後の研究の方向性の検討	共著	令和5年3月	育英大学研究紀要第5号,25-34	木浪龍太郎、松本隆太郎 長島和幸、根本 想
2 高等学校の特別活動における障がい者アスリートによる講演会の効果検証:「身体障がい者イメージ」に着目して	共著	令和5年3月	育英大学研究紀要第5号,15-24	岡田悠佑、根本 想 乳井勇二、木浪龍太郎 長島和幸
○学会発表				
1 大学体育における講義科目「スポーツ史」の学習内容に関する研究:受講者の自由記述文章に対するテキストマイニングを通じて	共同	2022年 9月25日	日本スポーツ教育学会 第42回学会大会	木浪龍太郎、長島和幸
2 日本におけるレスリングの受容に関する一考察:八田一朗の理念と実践の検討を通じて	共同	2022年 9月25日	日本スポーツ教育学会 第42回学会大会	長島和幸、木浪龍太郎 伊藤 奨

小島 廉生

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 平行棒における支持系の支持前振り技群に関する技術発達史的研究	共著	令和4年12月	スポーツ運動学研究 35:87-101	小島廉生、斎藤 卓
○学会発表				
1 ゆか運動の(後方3回宙返り)における習得過程に関する運動学的研究	共同発表者	令和4年8月	九州体育・スポーツ学会第71回大会	藤戸勇之進、田口晴康 小島廉生
社会的活動				
社会的活動に関する事項	年 月 日		概 要	
1 第70回九州学生体操競技選手権大会審判員	令和4年5月			
2 第72回西日本学生体操競技選手権大会審判員	令和4年5月			
3 福岡県タレント発掘事業講師	令和4年11月			
4 第15回福岡県小学生体操競技大会審判員	令和4年12月			

競技・指導歴

競技実績				
競技種目	大会名	年月日	成績	概要
体操競技	第55回全日本シニア・マスターズ体操競技選手権大会	令和4年9月17日～19日	種目別鉄棒4位	
体操競技	第77回国民体育大会	令和4年9月12日	団体8位入賞	佐賀県代表

呉屋 良真

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Daily fluctuations in visual motion discriminability contribute to daily fluctuations in continuous visuomotor performance	共著	令和4年11月	Frontiers in Sports and Active Living 4	Ayaka Takami, Ryoma Goya, Chisa Aoyama, Takaaki Komiyama, Toshitaka Kawajiri, Satoshi Shimegi

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年月日	成績	概要
ハンドボール	九州学生リーグ春季大会 日本選手権福岡県予選 西日本学生選手権大会 九州学生リーグ秋季大会 全日本学生選手権大会	令和4年5月 令和4年7月	1部優勝 優勝 ベスト8 1部優勝 ベスト16	

高柳 昂平

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Effects of aquatic exercise training on physical performance and mood states in young male athletes	共著	令和4年11月	Translational Journal of the ACSM, 8(1) : e000218, 2023	Ryoma Michishita, Taijiro Hide, Shotaro Kawakami, Yuta Kanegawa, Kohei Takayanagi, Masahiro Inui, Yoshinari Uehara, Yasuki Higaki

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学会発表				
1 大学生アスリートの休養前後のパフォーマンス変化について	共同	令和5年3月	日本コーチング学会 第34回学会大会	村川 誠、古瀬裕次郎 高柳昂平

競技・指導歴

指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
サッカー	第37回九州大学 サッカーリーグ1部	2022年4月～ 2022年11月	優勝	
サッカー	第45回九州大学 サッカートーナメント	2022年7月	優勝	
サッカー	2022年度第4回九州大学 サッカー新人戦	2022年11月	優勝	

田中 璃己

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Impact of brown adipose tissue vascular density on body adiposity in healthy Japanese infants and children.	共著	2022年4月	Obesity science & practice 8(2) 190-198	Miyuki Kuroiwa, Sayuri Hamaoka-Fuse, Shiho Amagasa, Ryotaro Kime, Tasuki Endo, Riki Tanaka, Yuko Kurosawa, Takafumi Hamaoka
2 The Effects of 10-Week Strength Training in the Winter on Brown-like Adipose Tissue Vascular Density	共著	2022年8月	International journal of environmental research and public health 19(16)	Riki Tanaka, Sayuri Fuse-Hamaoka, Miyuki Kuroiwa, Yuko Kurosawa, Tasuki Endo, Ryotaro Kime, Takeshi Yoneshiro, Takafumi Hamaoka
○学会発表				
1 10週間の筋力トレーニングによる褐色脂肪組織密度の変化と血中BCAA濃度の変化は逆相関する	共著	2022年4月	第174回日本体力医学会関東地方会	田中璃己、布施沙由理 黒岩美幸、杉本昌弘 黒澤裕子、相田泰子 富田淳美、安生幹子 遠藤祐輝、木目良太郎 浜岡隆文
2 筋力トレーニング負荷量と褐色脂肪組織密度の変化量との関係	共著	2022年7月	第47回日本運動療法学会学術集会	田中璃己、布施沙由理 黒岩美幸、杉本昌弘 黒澤裕子、相田泰子 富田淳美、安生幹子 遠藤祐輝、木目良太郎 浜岡隆文

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
3 10週間の筋力トレーニングがベージュ脂肪組織血管密度指標に与える要因の検討	共著	2022年9月	第77回日本体力医学会	田中璃己、布施沙由理 黒岩美幸、黒澤裕子 遠藤祐輝、木目良太郎 浜岡隆文
4 Influence of Training Volume Accompanied by Lower Room Temperature on Beige Adipose Tissue Vascular Density During 10-week Strength Training	共著	2022年10月	International Congress on Obesity 2022	Riki Tanaka, Sayuri Fuse-Hamaoka, Miyuki Kuroiwa, Yuko Kurosawa, Ryotaro Kime, Takafumi Hamaoka
5 The relationship between strength training-induced changes in brown-like adipose tissue parameters and changes in systemic body fat parameters	共著	2023年1月	SPIE BIOS	Riki Tanaka, Sayuri Fuse-Hamaoka, Miyuki Kuroiwa, Yuko Kurosawa, Tasuki Endo, Ryotaro Kime, Takafumi Hamaoka

富賀 裕貴

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Administration of Jerusalem artichoke reduces the postprandial plasma glucose and glucose-dependent insulinotropic polypeptide (GIP) concentrations in humans	共著	令和4年4月	Food & Nutrition Research. 66	Takahashi H, Nakajima A, Matsumoto Y, Mori H, Inoue K, Yamanouchi H, Tanaka K, Tomiga Y, Miyahara M, Yada T, Iba Y, Matsuda Y, Watanabe K, Anzai K.
2 HSPA8 Single-Nucleotide Polymorphism Is Associated with Serum HSC70 Concentration and Carotid Artery Atherosclerosis in Nonalcoholic Fatty Liver Disease	共著	令和4年7月	Genes. 13(7) 1265-1265	Zhao W, Mori H, Tomiga Y, Tanaka K, Perveen R, Mine K, Inadomi C, Yoshioka W, Kubotsu Y, Isoda H, Kuwashiro T, Oeda S, Akiyama T, Zhao Y, Ozaki I, Nagafuchi S, Kawaguchi A, Aishima S, Anzai K, Takahashi H.
3 Behavioral defects and downregulation of hippocampal BDNF and nNOS expression in db/db mice did not improved by chronic TGF-β2 treatment	共著	令和4年8月	Frontiers in Physiology. 13	Tomiga Y, Higaki Y, Anzai K, Takahashi H.
4 Effects of Dietary Vitamin D Deficiency on Markers of Skeletal Muscle Mitochondrial Biogenesis and Dynamics	共著	令和4年8月	Journal of Nutritional Science and Vitaminology 68(4) 243-249	Ra SG, Nakagawa H, Tomiga Y, Iizawa H, Nakashima S, Higaki Y, Kawanaka K.
5 運動による抗不安効果を担う海馬のDNAメチル化	共著	令和4年12月	体育の科学. 72巻12月号、杏林書院	富賀裕貴、檜垣靖樹

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学会発表				
1 地域在住高齢者の側頭葉内側面の萎縮と身体活動強度の関係 -福岡アイランドシティ研究-	共同	令和4年4月	第23回七隈アルツハイマー病・パーキンソン病研究会(福岡)	富賀(高江)理恵、畑本陽一、古瀬裕次郎、富賀裕貴、安方 惇、小見山高明、池永昌弘、檜垣靖樹
2 TGF- β 2の慢性投与は、2型糖尿病モデルマウスにおける不安様行動の増加、海馬のBDNFおよびnNOS発現の低下に影響を及ぼさない	共同	令和4年5月	第65回日本糖尿病学会年次学術集会(神戸)	富賀裕貴、檜垣靖樹、安西慶三、高橋宏和
3 nNOS DNA Methylation Level And Nnos μ Gene Expression In The Differentiation Of Primary Myoblasts	共同	令和4年5月	2022 American College of Sports Medicine, Denver, USA	Kusano M, Sakai K, Tomiga Y, Kitajima Y, Ito A, Kawanak K, Nakashima S, Uehara Y, Higaki Y
4 運動による抗うつ・不安効果の分子機序解明 -「運動と脳機能」に着目した大学保健体育科目講義への応用-	共同	令和4年8月	九州体育・スポーツ学会第71回大会(宮崎)	富賀裕貴(シンポジスト)
5 運動による海馬不安関連遺伝子のエピジェネティックな変化	共同	令和4年9月	第77回日本体力医学会大会(栃木, Web)	富賀裕貴(シンポジスト)
6 短期間の運動が骨格筋および肝臓のnNOS DNAメチル化に及ぼす影響	共同	令和4年9月	第77回日本体力医学会大会(栃木, Web)	草野雅貴、坂井一哉、富賀裕貴、伊藤 愛、小杉美貴、中島志穂子、上原吉就、川中健太郎、檜垣靖樹
7 走運動トレーニングは肝線維化モデルマウスの不安様行動を改善する	共同	令和4年11月	第44回日本肝臓学会東部会(宮城)	富賀裕貴、田中賢一、安西慶三、高橋宏和

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 脂肪肝のための運動動画～やってみよう！へパトサイズ！	令和4年4月4日	久留米大学医学部と共同で実施し、脂肪肝に有効な運動プログラムに関する実演・助言を行った。
2 佐賀大学医大祭市民公開講座 脂肪肝撃退のための健康教室	令和4年5月21日	佐賀大学医学部医大祭において、附属病院肝疾患センター主催の市民公開講座の運動指導講師を務めた。
3 一般社団法人日本肝臓学会市民公開講座肝がん撲滅運動 アウトドアで脂肪肝を追い払え！	令和4年12月17日	日本肝臓学会が主催する市民公開講座において、脂肪肝改善のための運動療法の普及・啓発を行った。

長嶺 健

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 A statistical examination into the structure of plays and its relationship to wins/losses in basketball games played by excellent players from the standpoint of STATS	共著	令和4年8月	Journal of Digital Life 2022,2,14	Ken Nagamine, Osamu Aoyagi
2 Development of pre-tests for measuring learning effects of computer-manipulation skills and knowledge and grouping Sports Science students by them	共著	令和4年12月	Bulletin of the Fukuoka University Center for Teacher Education (7)(P114~135)	Ken Nagamine, Osamau Aoyagi, Takahiro Ikeda, Tomoko Ikeda
3 バスケットボールの「基本的な合わせ場面」での状況判断知識と諸要因の関連	共著	令和4年11月	佐世保工業高等専門学校研究報告, 59, 47-85.	大山泰史、青柳 領 八板昭仁、小牟礼育夫 田方慎哉、長嶺 健 案浦知仁
4 スポーツ情報処理実習による学生の主観的評価の向上	共著	令和4年12月	福岡大学教職課程教育センター紀要 第7号 (P136~150)	長嶺 健、青柳 領
○学会発表				
1 The PE-class effects of ball handling skills in basketball according to specific sports events	共著	令和4年7月	27th Anniversary Congress of the European College of Sport Science	Ken Nagamine, Osamu Aoyagi, Ikuo Komurei, Akihito Yaita, Shin'ya Tagata, Tomohiko Annoura, Yasufumi Ohyama
2 バスケットボールにおける主観的状況判断のバスケットボール以外の種目間差	共著	令和4年8月	九州体育・スポーツ学会 第71回大会	長嶺 健、青柳 領 小牟礼育夫、田方慎哉 大山泰史、案浦知仁
3 体育系大学バスケットボール授業を対象とした主観的状況判断の要因について -Elferink-Gemser et al.との要因の比較-	共著	令和4年8月	一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会	長嶺 健、青柳 領 小牟礼育夫、八板昭仁 田方慎哉、大山泰史 案浦知仁
4 Knowledge for decision-making in basketball games in university PE classes: Influence from athletic experience in elementary, junior high, and high school	共著	令和4年12月	The 2022 Virtual International Conference for the 10th East Asian Alliance of Sport Pedagogy	Ken Nagamine, Osamu Aoyagi
5 バスケットボール選手と他種目選手における状況判断知識の違い	共著	令和4年12月	日本バスケットボール学会 第9回学会大会	長嶺 健、青柳 領 小牟礼育夫、八板昭仁 田方慎哉、大山泰史 案浦知仁
6 バスケットボールの状況判断能力の主観的自信と客観的知識テストとの関連	共著	令和4年2月	日本コーチング学会 第34回大会	長嶺 健、青柳 領 小牟礼育夫、八板昭仁 田方慎哉、大山泰史 案浦 知

競技・指導歴

指導歴

競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
バスケットボール	令和4年度福岡県大学バスケットボール春季リーグ	令和4年4月	5位	監督
バスケットボール	第27回全九州大学春季バスケットボール選手権大会	令和4年5月	4位	監督
バスケットボール	第29回全九州大学バスケットボール1部リーグ	令和4年10月	5位	監督

三浦 征

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Antioxidative Self-Assembling Nanoparticles Attenuate the Development of steatohepatitis and Inhibit Hepatocarcinogenesis in Mice	共著	令和4年9月	antioxidants 11: 1939	Watahiki T, Okada K, Miura I, To K, Tanaka S, Warabi E, Kanno N, Yamagata K, Gotoh N, Suzuki H, Ariizumi S, Tsuchiya K, Nagasaki Y, Shoda J.
2 p62/Sqstm1 rescue in muscle retards the progression of steatohepatitis in p62/Sqstm1-null mice fed a high-fat diet	共著	令和4年11月	Frontiers in Physiology 13: 993995	Miura I, Okada K, Ishii A, Warabi E, Watahiki T, To K, Shimano H, Ariizumi S, Shoda J.
○学会発表				
1 骨格筋のp62はインスリン抵抗性の改善を介してマウス脂肪性肝炎の炎症・線維化を軽減させる	共著	令和4年4月	第12回肥満と消化器疾患研究会	三浦 征、岡田浩介 石井亜紀子、綿引隆久 陶 経緯、正田純一
2 骨格筋のp62は筋-肝連関を介して脂肪性肝炎の炎症・線維化を抑制する	共著	令和4年4月	第108回日本消化器病学会総会	三浦 征、岡田浩介 石井亜紀子、正田純一
3 骨格筋のNrf2は筋-肝連関を介してマウスNASHの肝炎症・線維化を抑制する	共著	令和4年6月	第58回日本肝臓学会総会	三浦 征、岡田浩介 正田純一
4 非アルコール性脂肪性肝炎に対する筋Nrf2の防御的役割	共著	令和4年8月	日本筋学会第8回学術集会	三浦征、岡田浩介 石井亜紀子、綿引隆久 陶 経緯、正田純一
5 肥満における骨格筋量・筋力の低下と耐糖能以上に対するp62の役割	共著	令和4年9月	第77回日本体力医学会大会	三浦 征、岡田浩介 石井亜紀子、正田純一
6 骨格筋のNrf2は筋-肝連関を介してNASHの発症を抑止する	共著	令和4年10月	第26回日本肝臓学会大会 (JDDW2022)	三浦 征、岡田浩介 石井亜紀子、綿引隆久 陶 経緯、正田純一

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
7 肝細胞のp62はマウス脂肪性肝炎を防御する-組織特異的p62遺伝子改変マウスを用いた臓器連関の視点からの解析	共著	令和4年4月	第12回肥満と消化器疾患研究会	岡田浩介、綿引隆久 陶 経緯、三浦 征 正田純一

山本 泰暉

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Intermittent Exercise at Lactate Threshold Induces Lower Acute Stress than Its Continuous Counterpart in Middle-to-Older Aged Men	共著	令和4年6月	International Journal of Environmental Research and Public Health Vol.19 No.12, 7503	Taiki Yamamoto, Yukiya Tanoue, Yoshinari Uehara, Yasuki Higaki, Hiroaki Tanaka, Kenji Narazaki
2 骨格筋を介した血糖コントロールに人工甘味料がおよぼす影響	共著	令和4年9月	Bioclinica 37巻, 10号, 925-927	山本泰暉、上原吉就
○学会発表				
1 人工甘味料摂取が血糖および骨格筋合成指標に与える影響	共同	令和4年9月	第77回日本体力医学会大会	山本泰暉、坂本 愛 阿部智美、中島志穂子 小松知広、上原吉就
2 乳酸閾値での間欠的運動は、継続的運動と比較して身体的ストレスを抑制するが、成長ホルモンは増加させない。	共同	令和5年3月	第24回日本健康支援学会	山本泰暉、田上友季也 檜垣靖樹、上原吉就 田中宏暁、檜崎兼司

吉田 一也

研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表 雑誌等又は発表学 会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 Does humeral retrotorsion affect glenohumeral rotation and stiffness of posterior shoulder in college baseball pitchers?	共著	令和4年9月	The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 11(5) 305-313	吉田一也、向井直樹 岡本嘉一、竹村雅裕
○学会発表				
1 体育系大学新生に対するスポーツ傷害の既往歴と現在の身体問題の実態調査	共著	令和4年11月	第33回日本臨床スポーツ医学会	吉田一也、重森 裕 大塚菜々、大坪俊矢 吉村一朗
2 F大学スポーツ科学部1年生を対症とした非観血的な貧血調査	共著	令和4年11月	第33回日本臨床スポーツ医学会	大塚菜々、吉田一也 鶴崎莉乃、山口継太 大坪俊矢、後藤恭介 福島 洋、館原宗幸 寺田光輝、吉村一朗 森口哲史、重森 裕

社会的活動

社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 福岡市主婦卓球愛好会会員研修会 講師	令和5年2月15日	【テーマ】今から始めよう！100歳になっても卓球が楽しめる体づくりと生活習慣

神田 菜摘

競技・指導歴

競技実績

競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
陸上競技 走高跳	日本グランプリシリーズ 札幌大会 第35回南部忠平記念陸上競技大会	2022年7月10日	3位 1m77	日本グランプリシリーズ
陸上競技 走高跳	第70回全日本実業団対抗 陸上競技選手権大会	2022年9月25日	5位 1m70	

古賀 恵

競技・指導歴				
指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
新体操	第74回全日本学生新体操選手権大会	令和4年8月25日～28日	団体総合11位 個人総合31位・49位	団体、個人選手2名共に全日本学生新体操選手権大会への出場権獲得
新体操	第72回西日本学生新体操選手権大会	令和4年5月24日～26日	団体総合4位 個人総合14位・21位	
新体操	第42回九州学生新体操選手権大会	令和4年4月29日～30日	団体総合2位 個人総合6位・12位	
新体操	第43回九州学生新体操新人大会	令和4年10月14日～15日	団体総合1位 個人総合2位	

佐藤 功一

社会的活動		
社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 公益財団法人日本水泳連盟 競泳競技役員	令和4年4～ 令和5年3月	公認水泳大会(①(公財)日本水泳連盟学生委員会九州支部主催、②福岡県中学校体育連盟主催、③福岡県水泳連盟主催)の計17大会で、競技役員(審判)を務めた。
2 大分県立日田三隈高等学校 特別講師	令和4年8月30日	大分県立日田三隈高等学校1年生(約100名)に対し、「卒業生に学ぶ」のテーマで講義を行った。
3 糸島市立前原東中学校水泳部 特別コーチ	令和4年12月25日～ 26日	糸島市立前原東中学校水泳部の強化合宿で、中学生部員(10名)に対し、特別コーチとしてコーチングを行った。

座波 吉子

競技・指導歴				
競技実績				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
柔道	全日本実業団柔道個人選手権大会	令和4年8月27日	3位	
指導歴				
柔道	全日本学生柔道優勝大会	令和4年6月25日	3位	福岡大学女子柔道部コーチ

島元 順平

競技・指導歴				
指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
バスケットボール	第58回熊本県中学校バスケットボール選手権大会	令和5年1月29日	優勝	熊本ヴォルターズU15 所属
バスケットボール	第43回全九州中学校バスケットボール春季選手権大会	令和5年2月25日	初戦敗退	熊本ヴォルターズU15 所属

前川 省吾

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学術論文				
1 男子砲丸投アツオビン・ジェイソン選手における投擲動作の特徴と課題	共著	令和4年10月	陸上競技研究 / 日本学生陸上競技連合 [編] 2022 (3), 18-24	野口安忠、山本大輔 信岡沙希重、樋口貴俊

村田 優作

研究業績書				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要 (共著者名など)
○学会発表				
1 ラグビーフットボールの普及活動についての検討—大人のラグビー体験教室を開催して—	共著	令和5年 3月11・12日	日本フットボール学会20th Congress	村田優作、築城昌拓 村上 純、下園博信

社会的活動		
社会的活動に関する事項	年 月 日	概 要
1 福岡市スポーツ体験ランド2022 in 城南区	令和4年8月20日	ラグビー教室ブース
2 FUスポまち 福岡大学スポーツ・健康まちづくりコンソーシアム	令和4年10月7日～ 12月16日	楽しく学ぼう！大人のラグビー体験教室
3 フードロスマルシェ	令和4年10月・12月	10月のフードロスイベントにラグビー部として参加、12月にはラグビー部主催のイベントとして企画し運営
4 小学校体育授業サポート	令和5年1月～現在	城南区の小学校の授業補助
5 福岡市スポーツ協会ラグビー教室	令和4年5月・8月	福岡市スポーツ協会主催

競技・指導歴				
競技実績				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
ラグビー	九州学生ラグビーリーグ	令和4年9月～12月		大会レフリー
ラグビー	ルーキーズカップ	令和4年9月17・18・19日		大会レフリー
ラグビー	福岡市市民大会	令和4年3月3・4日		大会レフリー
指導歴				
ラグビー	九州学生ラグビーAリーグ	令和4年9月～12月	Aリーグ4位	コーチ・チームレフリー
ラグビー	九州学生ラグビージュニアリーグ	令和4年9月～13月	2位	コーチ・チームレフリー

村山 仁允

競技・指導歴				
指導歴				
競技種目	大会名	年 月 日	成 績	概 要
サッカー	第26回福岡県サッカー選手権大会	令和4年4月	準優勝	1.2年生大会 セカンドチーム大会
サッカー	2022年度第45回九州大学トーナメント大会	令和4年7月	優勝	
サッカー	2022年度第5回九州大学サッカー新人戦	令和4年11月	優勝	
サッカー	2022年度第17回九州大学インディペンデンスリーグ2021	令和4年11月	優勝	
サッカー	アットホームカップ2022第20回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル	令和4年12月	1回戦敗退	セカンドチーム全国大会
サッカー	2022年度第70回全日本大学サッカー選手権大会	令和4年12月	1回戦敗退	全国大会出場チーム決定リーグ
サッカー	2022年度全日本大学サッカー新人戦	令和4年10月	GL敗退	